

Tama City outdoor sports facility plan

多摩市屋外スポーツ施設 管理更新計画



令和3(2021)年12月

多摩市

目次

1. 計画の概要	
(1) 計画策定の背景と目的	2
(2) 計画の位置づけ	3
(3) 計画期間	3
2. 対象施設	
(1) 対象施設	6
(2) 対象施設の位置	7
3. 屋外スポーツ施設の課題整理	
(1) 施設の老朽化（屋外スポーツ施設の健全度調査）	10
(2) 熱中症のリスク	12
(3) 各施設の稼働率・収支状況	13
(4) 気候変動	15
(5) 施設利用されているスポーツ競技が限定的	15
(6) 少人数でスポーツができる場の不足	16
(7) 駐車場台数の不足	16
4. 屋外スポーツ施設を取り巻く環境	
(1) スポーツ競技実施状況	20
(2) 学校開放・学校跡地施設利用状況	23
(3) 都内26市公共スポーツ施設数比較	24
(4) 近隣地域における公共・民間スポーツ施設調査	26
(5) 民間事業者ヒアリング	27
(6) アンケート調査概要	29
5. 基本方針	
(1) 現状に対する認識	36
(2) 基本目標	36
(3) 今後の方向性	38
6. 管理更新計画	
(1) 年次計画	42
(2) 予防保全型管理への転換	44
(3) 本計画の実施に係る将来費用と財源	44
(4) 施設運用の見直し	47
(5) 計画の進行管理	49
7. 用語集	
(1) 施設カルテ	56
(2) 策定経過	78
(3) 多摩市スポーツ推進審議会委員名簿	79
(4) 諮問・答申	79
(5) 多摩市体育施設に係る個別施設計画検討委員会委員名簿	80

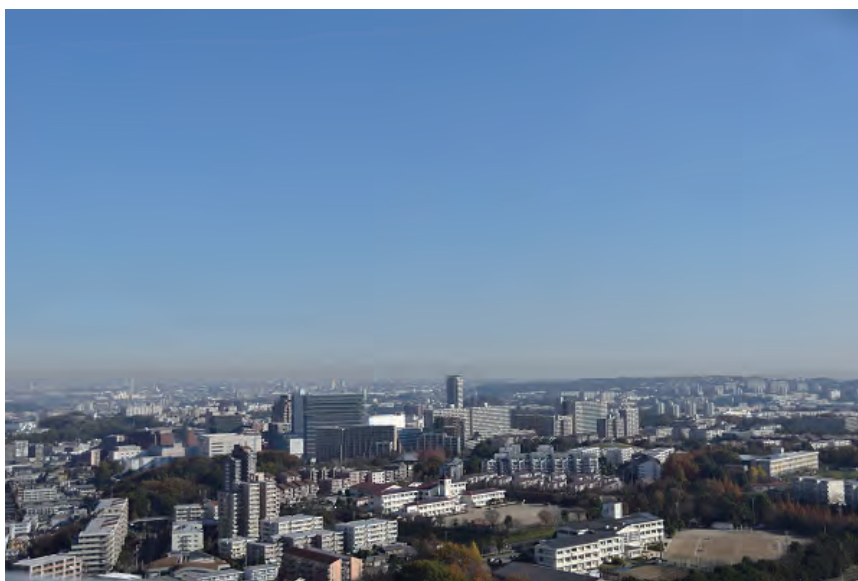
1. 計画の概要

(1) 計画策定の背景と目的

平成 23 年 8 月にスポーツ推進のための基本的な法律として、「スポーツ基本法」が施行されました。スポーツ基本法は、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進することで、国民の心身の健全な発達や明るく豊かな国民生活を形成することなどを目的としています。また、スポーツ施設の整備について、利用の実態等に応じて安全の確保を図ること、障がい者等の利便性の向上を図ること、身近にスポーツに親しむことができるように施設や設備を整備すること、利用者の需要に応じた運用の改善に努めることなどを定めています。

本市では、第五次多摩市総合計画第 3 期基本計画において「健幸まちづくりのさらなる推進」を計画全体の基本となる考え方として掲げており、スポーツの推進が本市のまちづくりに寄与することから、スポーツ基本法に則り令和 2 年に多摩市スポーツ推進計画を策定しました。多摩市スポーツ推進計画に定めた基本目標“スポーツで創り出す「みんなが笑顔」でつながるまち 多摩”を実現するためには、スポーツ環境の向上を図っていかねばなりません。「多摩市屋外スポーツ施設管理更新計画（以下「本計画」という。）」は、屋外スポーツ施設の計画的な更新について定めることにより、施設利用者の安全を確保するとともに、より多くの市民がスポーツに参画する機会を確保するための適正な管理運営を行っていくことを目的としています。

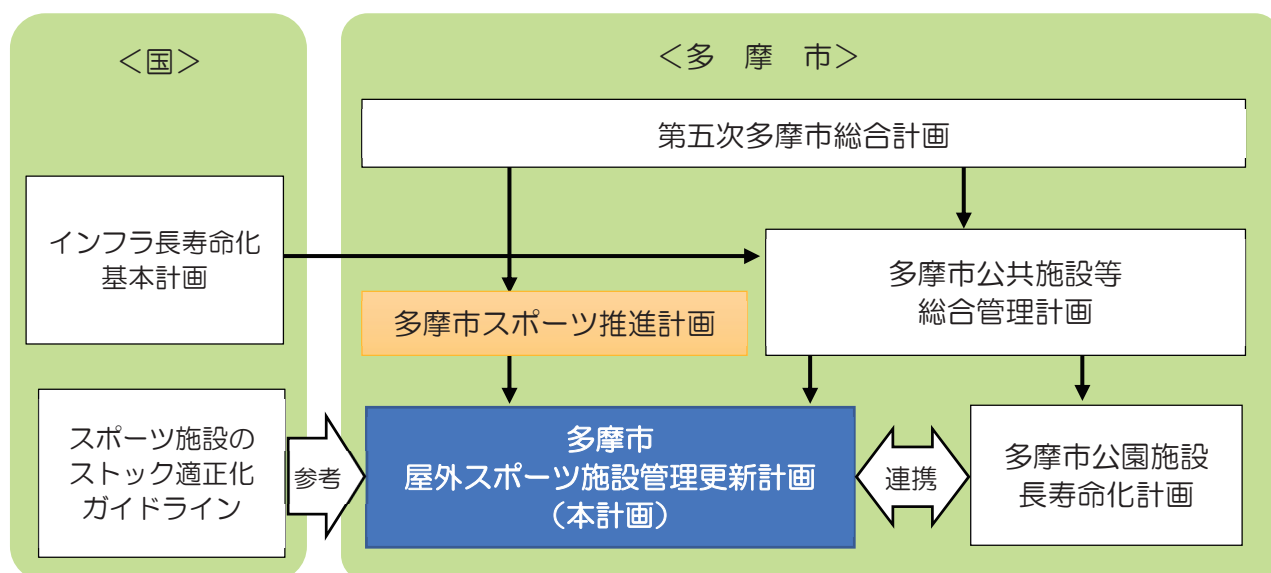
また、多摩市の都市基盤や公共施設は、他市と比較して質・量ともに非常に高い水準にあり、人口急増に対応するために集中的な整備を行ってきた経過もあることから、維持・管理に要する経費が大きな財政負担となっています。このような背景から、多摩市では公共施設等マネジメントを推進していくため、多摩市公共施設等総合管理計画を策定しています。本計画は多摩市公共施設等総合管理計画の下位計画として、多摩市が所有する公共施設の一部である屋外スポーツ施設について、個別施設毎の方向性を定め、財政負担の軽減・平準化を図ることについても同時に計画策定の目的としています。



(2) 計画の位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づく実施計画である個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけるものであり、多摩市公共施設等総合管理計画の下位計画にあたります。本計画の策定にあたっては、平成30年3月にスポーツ庁が社会体育施設に関する個別施設計画策定のための指針・手引として策定した「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を参考としました。

また、多摩市の所有する屋外スポーツ施設は、全て公園内に設置されていることから、公園施設の更新・改修と連携した取り組みを行うことで、市民の施設利用への影響を最小限としつつより一層効率的な更新を行うことが可能となります。そのため、「多摩市公園施設長寿命化計画」と連携していく計画とします。



〔図1〕 計画の位置づけ

(3) 計画期間

10年間 令和4（2022）年度～令和13（2031）年度

2. 対象施設

(1)対象施設

本計画の対象施設は、市が保有する屋外スポーツ施設とし、表1に示す施設を対象とします。

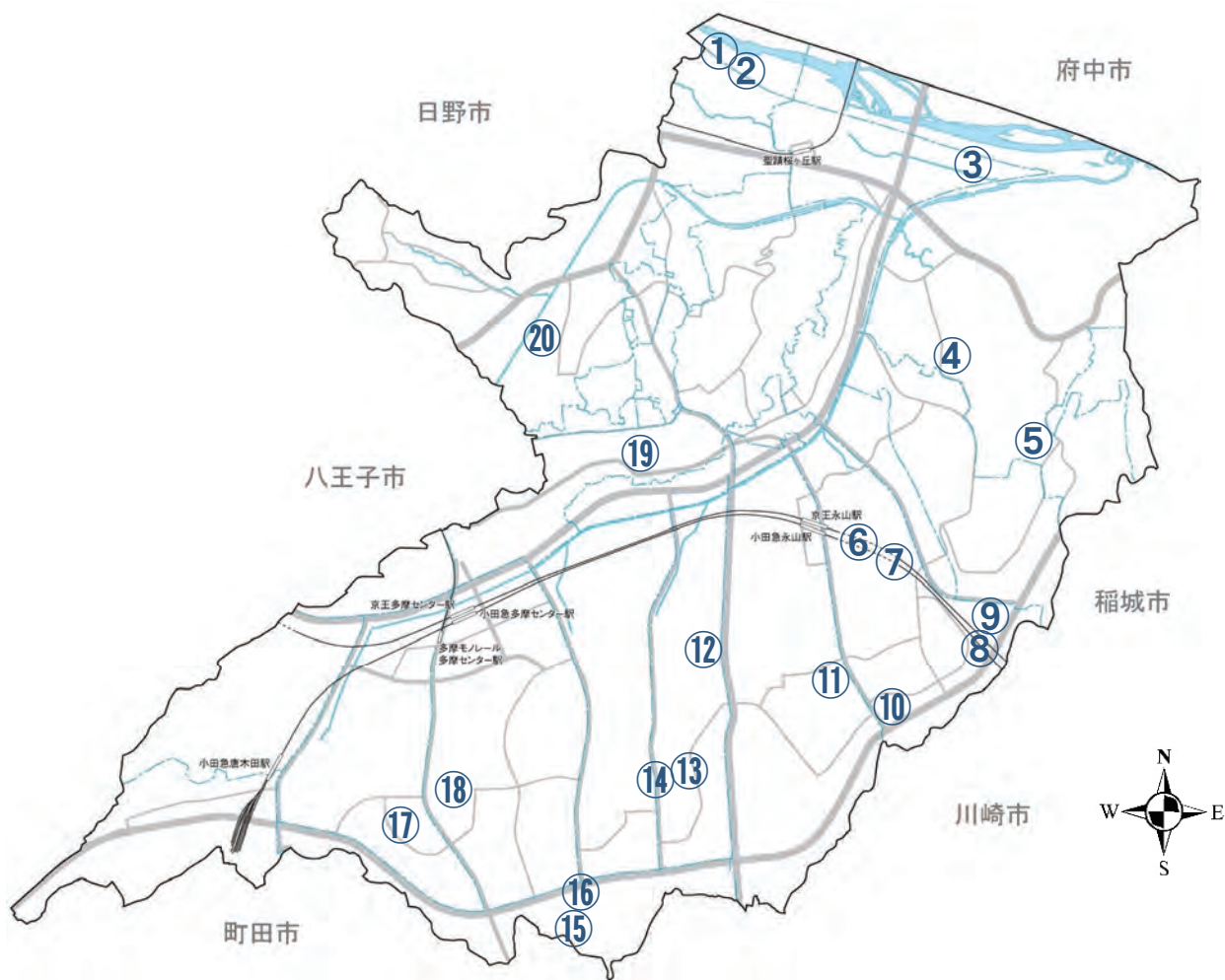
表1 対象施設一覧

No	施設種別	施設名	場 所	施設の概要	都市計画決定の有無
1	野球場	一本杉公園野球場	多摩市南野二丁目14番地1	グラウンド（両翼91m、本塁中堅間120m）、管理棟（会議室、事務室、トイレ、選手更衣室、シャワー室、放送設備）、夜間照明、大型スコアボード	○
2	野球場	関戸公園野球場	多摩市関戸三丁目2番地23先	グラウンド（両翼90m、本塁中堅間109m）	—
3	野球場	諏訪北公園野球場	多摩市諏訪三丁目11番地	グラウンド（両翼75m、本塁中堅間84m）	○
4	野球場	貝取南公園野球場	多摩市貝取四丁目13番地	グラウンド（両翼75m、本塁中堅間84m）	○
5	野球場 球技場	諏訪南公園野球場兼球技場	多摩市諏訪五丁目14番地1	野球場（左翼75m、右翼66m、本塁中堅間124m） 球技場（50m×90m）	○
6	球技場	貝取南公園球技場	多摩市貝取四丁目13番地	グラウンド（55m×85m）	○
7	球技場	一ノ宮公園球技場	多摩市一ノ宮1049番地先	グラウンド（50m×110m）	—
8	球技場	宝野公園球技場	多摩市落合五丁目5番地	グラウンド（65m×110m）	○
9	球技場	和田公園球技場	多摩市和田795番地	グラウンド（55m×78m）	○
10	庭球場	一本杉公園庭球場	多摩市南野二丁目14番地1	テニスコート（4面 砂入り人工芝）、夜間照明、更衣室、トイレ、用具庫	○
11	庭球場	永山南公園庭球場	多摩市永山四丁目7番地12	テニスコート（2面 砂入り人工芝）	○
12	庭球場	諏訪北公園庭球場	多摩市諏訪三丁目11番地	テニスコート（2面 砂入り人工芝） 壁打（1ヶ所 砂入り人工芝）	○
13	庭球場	貝取北公園庭球場	多摩市貝取二丁目1番地1	テニスコート（2面 砂入り人工芝）	○
14	庭球場	愛宕東公園庭球場	多摩市愛宕一丁目66番地	テニスコート（3面 砂入り人工芝）	○
15	庭球場	一ノ宮公園庭球場	多摩市一ノ宮1049番地先	テニスコート（2面 クレーコート）	—
16	庭球場	連光寺公園庭球場	多摩市連光寺五丁目8番地6	テニスコート（2面 砂入り人工芝）、夜間照明	○
17	庭球場	多摩東公園庭球場	多摩市諏訪四丁目9番地	テニスコート（6面 砂入り人工芝、1面 クレー）、 壁打（2ヶ所 クレー/ハード）、 管理事務所（更衣室、トイレ、用具庫）	○
18	庭球場	奈良原公園庭球場	多摩市鶴牧四丁目4番地	テニスコート（4面 砂入り人工芝）	○
19	キャンプ 練習場	大谷戸公園キャンプ練習場	多摩市連光寺五丁目17番地1	定員120人 約800㎡、かまど12ヶ所、 キャンプファイヤーサークル1ヶ所、管理棟	○
20	陸上	多摩市立陸上競技場	多摩市諏訪4丁目9	フィールド（13,340㎡） トラック1周400m×8コース（4,650㎡）	○

※各施設に設置されている管理棟などの建築物の保全整備方針などは、「第2次ストックマネジメント計画」に規定しています。

(2)対象施設の位置

対象施設の位置は、図2に示すとおりです。



所在番号	施設名称	所在番号	施設名称
①	一ノ宮公園庭球場	⑪	永山南公園庭球場
②	一ノ宮公園球技場	⑫	貝取北公園庭球場
③	関戸公園野球場	⑬	貝取南公園野球場
④	大谷戸公園キャンプ練習場	⑭	貝取南公園球技場
⑤	連光寺公園庭球場	⑮	一本杉公園野球場
⑥	諏訪北公園庭球場	⑯	一本杉公園庭球場
⑦	諏訪北公園野球場	⑰	奈良原公園庭球場
⑧	多摩東公園庭球場	⑱	宝野公園球技場
⑨	多摩市立陸上競技場	⑲	愛宕東公園庭球場
⑩	諏訪南公園野球場兼球技場	⑳	和田公園球技場

〔図2〕 対象施設位置図

コラム 屋外スポーツ施設 利用者の声 ～実践 健幸まちづくり～

■テニス



強いボールを打てた時はとても楽しく感じます。年上の相手にも勝てるくらい上手になりたいです！

テニスを通じて、学校も学年も違う友達ができました。



多摩市には市内に9カ所 28面のテニスコートがあり、多くの市民の皆様にご利用いただいています。テニスコートは個人単位で登録を行うことで利用可能です。近年の人工芝張替えなどの際にはプレーする際の視認性に優れた青と緑の砂入り人工芝コートを採用しています。



コート7面・壁打ちのある多摩東公園庭球場



コート4面・ナイター設備のある一本杉公園庭球場

■軟式野球



マネージャーをしています。チームがひとつになって大会で優勝できたことが忘れられない思い出です。

小学校の時からつながりで今のチームに入りました。みんなで野球を楽しんでいます。



一本杉公園野球場

多摩市では、5つの野球場を整備しており、軟式野球をはじめとした野球競技で多くの大会が開催されるなどしています。硬式野球については、一本杉公園野球場で実施可能なほか、関戸公園野球場では子ども団体については硬式野球利用が可能となっています。

3. 屋外スポーツ施設の課題整理

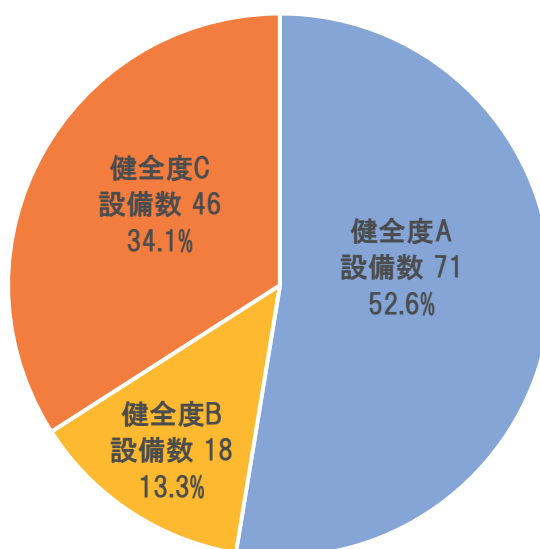
(1)施設の老朽化(屋外スポーツ施設の健全度調査)

「公園施設長寿命化計画策定指針(案)【改訂版】」(平成30年10月改定国土交通省)に基づき、屋外スポーツ施設に設置されている主要な設備(日除け、フェンス、バックネット、壁打ちなど)の劣化や損傷の状況を、現地において目視などにより確認する健全度調査を平成30年度に実施し、これを補完する調査を令和2年度に実施しました。健全度調査では、部材ごとの劣化状況などを調査し、各設備をA～Dの4段階で判定しました。健全度判定の考え方は表2に示すとおりです。

表2 健全度判定の考え方

健全度	評価基準
A	<ul style="list-style-type: none">・全体的に健全である・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの
B	<ul style="list-style-type: none">・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
C	<ul style="list-style-type: none">・全体的に劣化が進行している。・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。
D	<ul style="list-style-type: none">・全体的に顕著な劣化である。・重大な事故につながる恐れがあり、施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの。

健全度調査の結果、図3に示すとおり、健全度判定がCとなった設備が46(全体の約34%)あり、劣化が進んだ設備が一定数あることが分かりました。



〔図3〕 健全度判定結果(令和2年8月時点)

表3 施設別の健全度判定結果（令和2年8月時点）

施設名称	健全度A	健全度B	健全度C	健全度D	合計
一本杉公園野球場	4	2	15	0	21
関戸公園野球場	12	0	0	0	12
諏訪北公園野球場	1	3	2	0	6
貝取南公園野球場	3	2	2	0	7
諏訪南公園野球場兼球技場	3	0	2	0	5
貝取南公園球技場	4	1	2	0	7
一ノ宮公園球技場	2	0	0	0	2
宝野公園球技場	2	1	3	0	6
和田公園球技場	2	0	3	0	5
一本杉公園庭球場	4	2	5	0	11
永山南公園庭球場	0	2	2	0	4
諏訪北公園庭球場	2	2	1	0	5
貝取北公園庭球場	3	1	1	0	5
愛宕東公園庭球場	4	2	2	0	8
一ノ宮公園庭球場	3	0	0	0	3
連光寺公園庭球場	4	0	3	0	7
多摩東公園庭球場	10	0	2	0	12
奈良原公園庭球場	6	0	0	0	6
大谷戸公園キャンプ練習場	0	0	1	0	1
多摩市立陸上競技場	2	0	0	0	2
合計	71	18	46	0	135

平成30年度に実施した健全度調査の結果、健全度判定がDとなった設備については、利用者の安全を確保するため、早急な補修工事などを実施し、計画策定時点（令和3年12月）においては健全度Aに改善しています。

【健全度判定Dの改善例】



庭球場壁打ち背面のひび割れ・コンクリート基礎の剥離

野球場のフェンス破損



(2)熱中症のリスク

近年における夏の酷暑により、スポーツ活動中を含めて熱中症による被害が数多く発生しています。「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（令和元年5月改訂公益財団法人日本スポーツ協会）によれば、熱中症の目安となる暑さ指数（WBGT）31℃以上では「運動は原則中止」とされており、スポーツ施設利用者は施設を予約しながらも熱中症の危険を回避するため、施設利用を中止せざるを得ないような状況も発生しています。

表4 熱中症予防運動指針

WBGT ℃	湿球温度 ℃	乾球温度 ℃	運動は 原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31	27	35	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28	24	31	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
25	21	28	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21	18	24	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

1) 環境条件の評価にはWBGT(暑さ指数とも言われる)の使用が望ましい。

2) 乾球温度(気温)を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。

3) 熱中症の発症のリスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

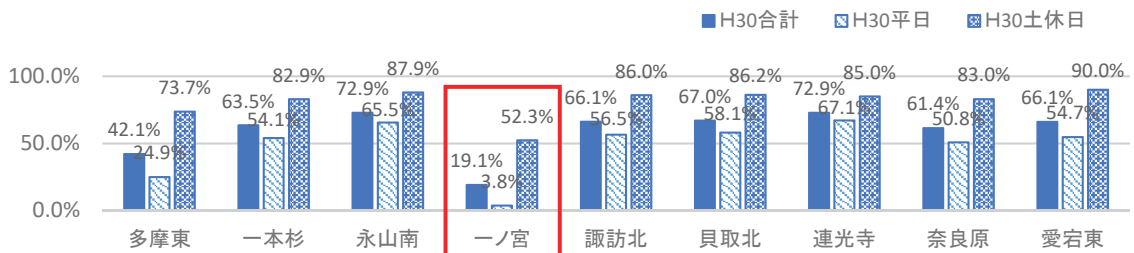
※暑さに弱い人:体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(令和元年)より

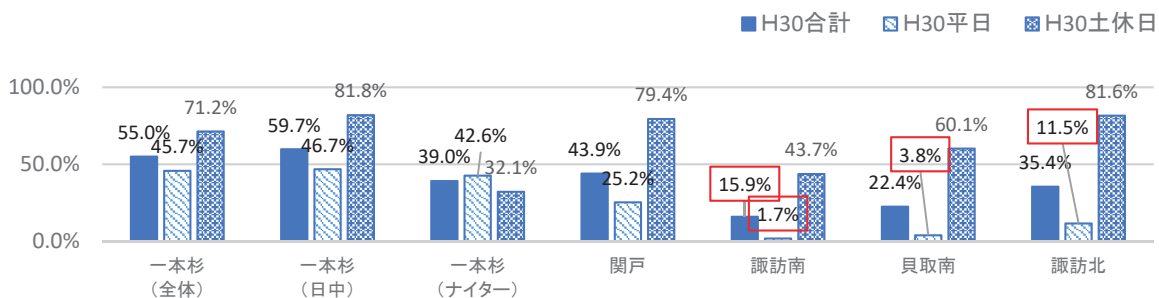


(3)各施設の稼働率・収支状況

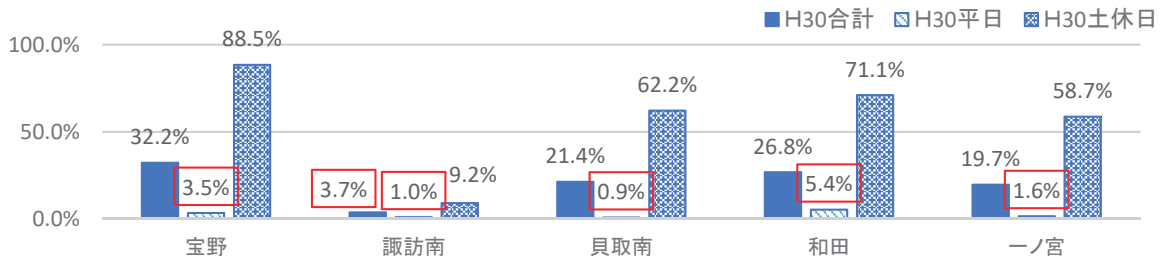
- ① 一ノ宮公園庭球場は、稼働率が低い状況（図4）にあり、同じく一ノ宮公園内に設置される一ノ宮公園球技場については、市内団体の利用が少ない状況（図9）です。これは立地条件などの施設環境が原因の1つとして考えられます。
- ② 野球場及び球技場は、施設で実施可能な競技が野球、サッカーなど主に子どもから現役世代が行う団体スポーツであることから、諏訪南公園野球場、貝取南公園野球場、諏訪北公園野球場及び各球技場で平日の稼働率が低い状況（図5・6）にあります。
- ③ 一本杉公園野球場は、市内団体の利用が少ない状況（図7）にあります。これは、ナイター照明や大型スコアボードなどを有した規模が大きい施設であり、利用料金が他の市内野球場に比較して高い設定となっていることから、法人利用が多くなっていることが原因であると考えられます。また、収支状況は他の野球場に比較して支出額が収入額を大きく上回っています。（図8）これは、グラウンド整備や光熱水費などの維持管理に係る支出が大きいことが原因であると考えられます。
- ④ 諏訪南公園野球場兼球技場は、多摩市内にある屋外スポーツ施設としては、比較的広い面積を有していますが、他施設に比較して稼働率（図5・6）及び市内団体の利用が少ない状況（図9）にあります。これは、駐車場台数が少ないことやフェンスの設置が施設の一部となり安全性やグラウンドコンディションに課題があることなどが原因であると考えられます。
- ⑤ 大谷戸公園キャンプ練習場は、火を扱える場所が管理棟のかまどなど一部に限定されており、現在のキャンプスタイルに合っていないことなど利便性に課題があるため、施設の稼働率が11.5%と低い状況にあります。また、当該施設は指定管理者制度導入施設として利用料金制が適用されていますが、条例で定められた利用料金上限額内で運営した際に利用率の向上による収入増加を上回る管理費の増加が発生する状況となっている点も課題です。



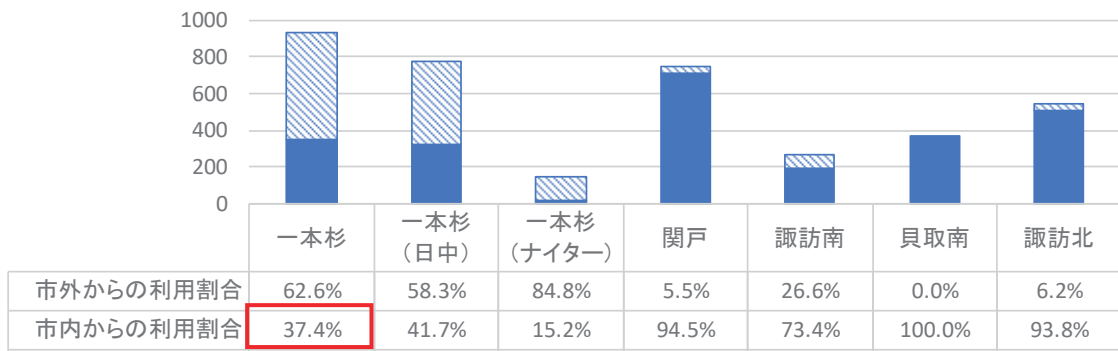
〔図4〕平成30年度庭球場稼働率



〔図5〕平成30年度野球場稼働率



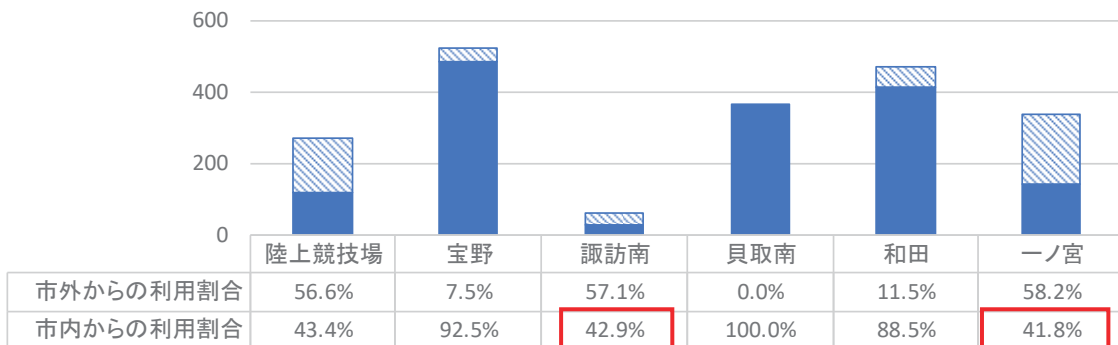
〔図6〕平成30年度球技場稼働率



〔図7〕平成30年度市内市外別野球場利用割合



〔図8〕平成30年度野球場収支額



〔図9〕平成30年度市内市外別陸上競技場・球技場利用割合

(4) 気候変動

気候変動により、日本各地で毎年、台風をはじめとした暴風や豪雨などの被害がもたらされており、多摩市においても令和元年 10 月に襲来した台風 19 号により一ノ宮公園庭球場及び球技場が大きな被害を受けました。その復旧には多額の費用を要するとともに、施設利用を数ヶ月間にわたって休止しなくてはなりません。地球温暖化により今後も同様の被害を受ける可能性は、否定できません。河川敷に設置された施設は、このような被害を受けることを想定しながら、今後の在り方を検討する必要があります。



(5) 施設利用されているスポーツ競技が限定的

近年、市民が行うスポーツ競技は現在の屋外スポーツ施設が設置された昭和 40 年代後半から昭和 50 年代に比べて大きく変化してきています。一方で、多摩市の屋外スポーツ施設は設置以後、対象可能競技は大きく変化しておらず、野球、サッカー、テニスなどを主な対象競技としています。

表 5 平成 30 年度施設利用実績

施設区分	平成 30 年度利用実績のあるスポーツ競技
野球場	硬式野球、軟式野球、ソフトボール
球技場	サッカー、ラグビー、ラクロス、ターゲットバードゴルフ
陸上競技場	サッカー、ラグビー、陸上競技
庭球場	硬式テニス、ソフトテニス

(6)少人数でスポーツができる場の不足

市民が行うスポーツは市民団体などでの団体活動はもちろんのこと、家族、友人同士、個人など、少人数でスポーツを実施する機会の確保も重要です。公共の場においては、ボールスポーツなどが禁止されている場所も多くあり、少人数でも安心してスポーツができる場の提供は十分とは言えない状況にあります。

(7)駐車場台数の不足

屋外スポーツ施設は全て公園内に設置されており、施設利用者は施設利用時に公園駐車場を利用しています。多くの屋外スポーツ施設設置公園では駐車場台数が大きく不足しており、枠外駐車や路上駐車などの問題も発生している状況があります。このような状況は、地域の住環境への影響なども懸念される課題です。公園駐車場は本計画の対象施設ではありませんが、屋外スポーツ施設の管理運営に必要不可欠な施設であることから、当該施設に関連する課題であると認識し、同時に公園利用者のための駐車場であることも踏まえることが必要です。

■陸上競技



現在 80 代ですが、40 代になってから走り始めました。フルマラソンは 70 歳になってから始めて、大会の年代別で上位入賞できました。チェコのプラハでマラソン大会に参加したのは忘れられない思い出です。

同じ趣味を持つ仲間との交流が楽しいです。
走るだけではなく、仲間と一緒に旅行やハイキングに行くなど交流を深めてきました。



多摩市立陸上競技場

多摩市立陸上競技場は令和元年度の改修工事でトラックの舗装についても改修を行い、それまでの赤茶色から青色に生まれ変わりました。団体利用の無い日には個人でも予約不要で利用可能です。利用後はシャワーで汗を流してお帰りください。

■グラウンドゴルフ



グラウンドゴルフをはじめて、優しく素敵な友達がたくさんできました。大会で優勝できた時には、本当にびっくりしたし、すごく嬉しかったです。



諏訪南公園野球場兼球技場



クラブとボール

グラウンドゴルフの活動でできた友達と色々な会話をしてコミュニケーションを取れるのが楽しい。健康維持の秘訣になっています。

<競技解説>

グラウンドゴルフとは、ボール、ホールポスト、スタートマットを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を競います。場所によって距離やホールポストの数を自由に設定でき、ルールも簡単なため、どこでも、だれでも手軽に楽しむことができます。

4. 屋外スポーツ施設を取り巻く環境

(1)スポーツ競技実施状況

本市におけるスポーツ実施率の推移について、平成 30 年度に実施した「多摩市のスポーツ活動に関する意識調査」及び「スポーツライフ・データ（笹川スポーツ財団）」を用いて分析を行いました。各調査の内容は次に示すとおりです。

〈多摩市のスポーツ活動に関する意識調査〉

実施機関：多摩市

調査対象：市内在住の満 18 歳以上の男女

配布数：2,000 人

回収数：621 票

集計質問：

①過去 1 年間に行ったスポーツ

「あなたが、この 1 年間に行ったスポーツや運動があれば、すべて選んでください。」

②興味のあるスポーツ

「あなたが、現在行っているものも含めて、今後行ってみたいなど興味のあるスポーツや運動はありますか」

〈多摩市小学生・中学生のスポーツに関する意識調査〉

実施機関：多摩市

調査対象：市内の市立小学 5 年生の児童 528 人、市内の市立中学生 948 人

調査方法：各学校で配付・回収

回収数：1,415 票

集計質問：

①あなたが、体育の授業以外で行っているスポーツを選んでください。

②あなたが、体育の授業以外で行いたいスポーツを選んでください。

〈スポーツライフ・データ〉

実施機関：笹川スポーツ財団

調査対象：年齢別に「18 歳以上」、「子ども・青少年（4～21 歳）」の 2 つに分類して実施。

調査件数：調査年により 1,571 件～3,000 件

利用年：平成 8（1996）年～平成 30（2018）年実施のデータを使用

集計質問：

①過去 1 年の間における運動・スポーツ実施種目に関する質問

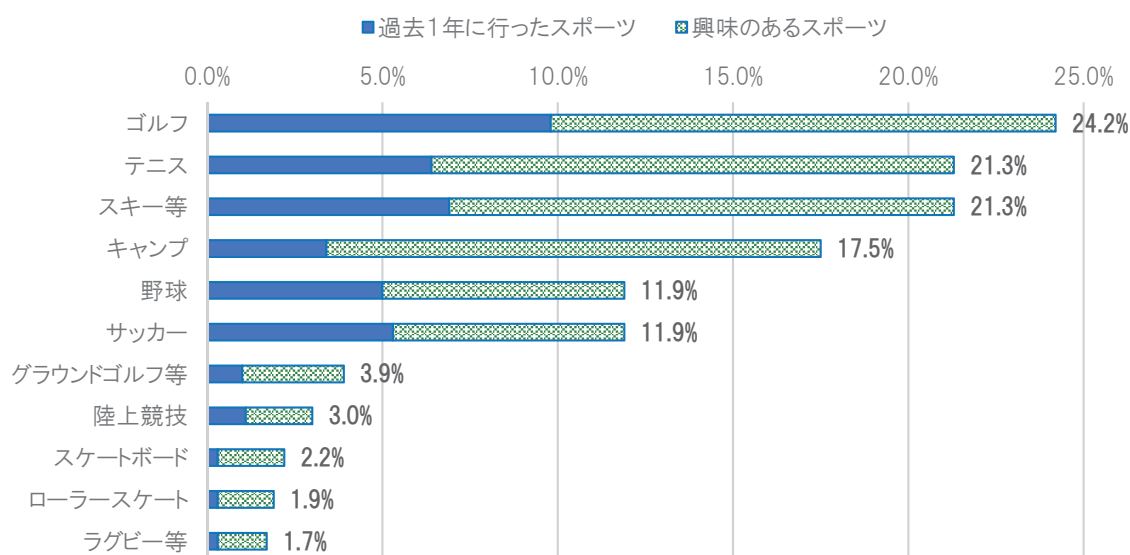
②今後行いたいと思う運動・スポーツ（現在行っている運動・スポーツも含めて）種目に関する質問。

① スポーツ需要

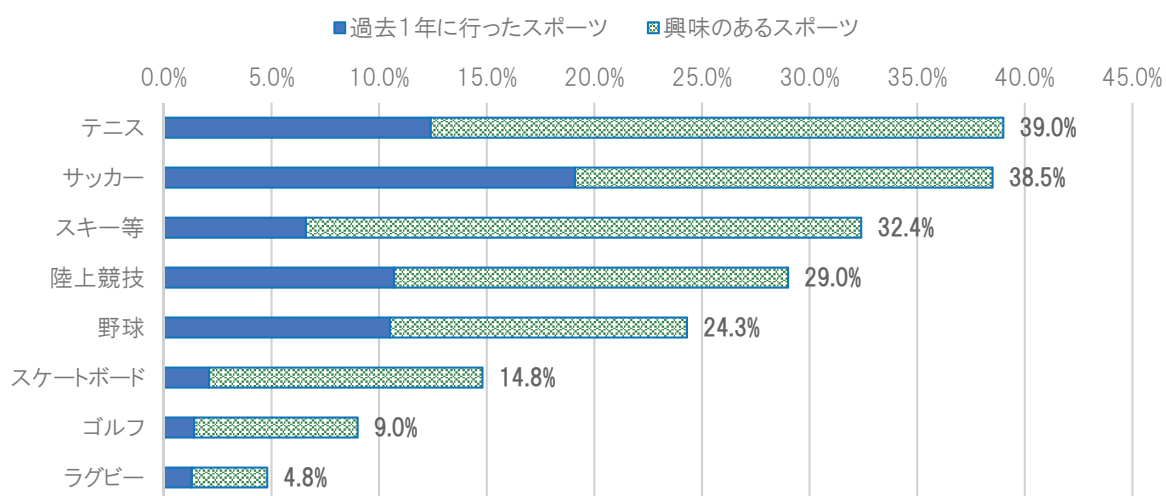
本市の18歳以上のスポーツ需要を図10、小中学生のスポーツ需要を図11に示します。

多摩市スポーツ活動に関する意識調査より、「過去1年間に行ったスポーツ競技」及び「今後行ってみたい興味のあるスポーツ競技」の回答結果では、18歳以上ではテニスやキャンプに興味を持っている人の割合が高く、潜在的な需要が高いと考えられます。

また、多摩市小学生・中学生のスポーツに関する意識調査より、「過去1年間に行ったスポーツ実施種目」及び「今後行ってみたいスポーツ種目」の回答結果では、小中学生では、特にテニスに興味を持っている人の割合が高く、潜在的需要が高いと考えられます。また、サッカー（フットサルを含む）では、実施率と興味のある割合の両方が高くなっています。18歳以上を対象とした回答と比較すると、陸上競技の需要割合が高いことが分かります。



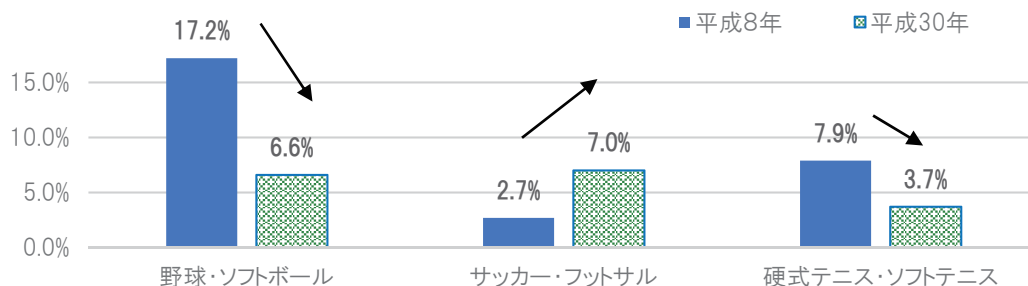
〔図10〕多摩市における屋外スポーツ需要（18歳以上）



〔図11〕多摩市における屋外スポーツ需要（小中学生）

② 全国スポーツ実施率増減状況

スポーツライフ・データ（笹川スポーツ財団）の平成30年調査を用いて、平成8年と平成30年調査での実施率を比較しました（図12）。全国的な傾向として、屋外競技についてはサッカー、フットサルは増加していますが、野球やテニスの競技実施率は減少しています。

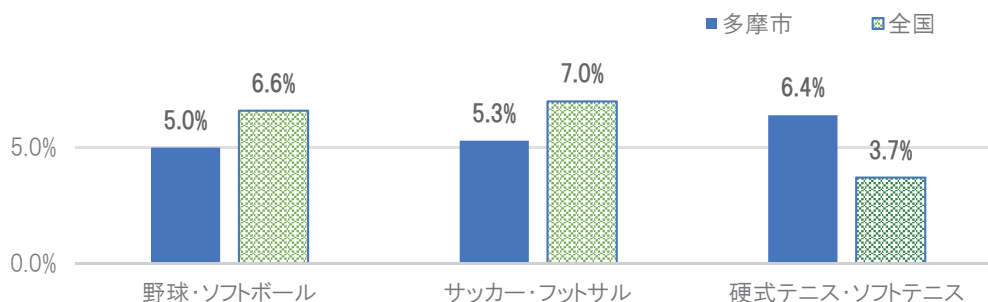


〔図12〕 全国での競技別スポーツ実施率増減状況（18歳以上）

③ 全国と本市の競技別スポーツ実施率の比較

競技別スポーツ実施率について、全国と本市の比較を図13に示します。

屋外スポーツ競技では、野球・ソフトボール、サッカー・フットサルについては、全国と比較して本市の実施率がやや低く、テニスについては本市の実施率が高くなっています。



〔図13〕 全国と多摩市の競技別実施比率（18歳以上）



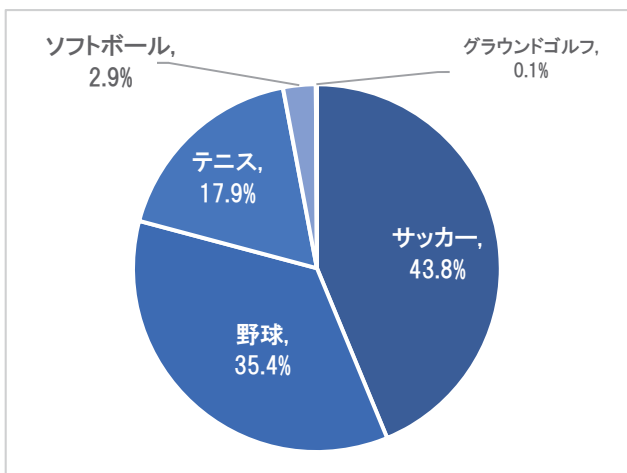
(2)学校開放・学校跡地施設利用状況

本計画対象施設以外に、市内でスポーツができる場として学校開放と学校跡地があります。学校開放は、教育活動や学校運営に支障がない範囲で体育館やグラウンドなどを市民利用のために開放しています。学校跡地は、今後の活用方針が決まるまでの間、閉校した学校のグラウンドなどを暫定的に開放しています。両施設とも、利用においては施設毎に設置された協議会に団体として加入することで定期的な利用が可能であり、どちらも活発な活動の場となっています。

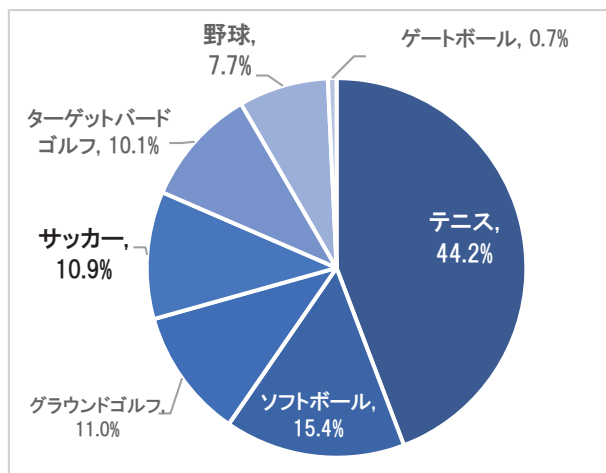
屋外競技の種目別に年間利用割合を集計（図14・15）しました。また、令和元年度における協議会加盟競技団体の活動予定から、学校毎の稼働状況を調査しました。（表6）

学校開放は、土日のサッカー、野球、テニスの利用が多く、どの学校も稼働率が非常に高い状況です。学校跡地は、テニス、ソフトボール、グラウンドゴルフなどの利用が多く、ほとんどの施設は稼働率が高い状況にあります。

屋外スポーツ施設の野球場や球技場の平日の稼働率は低い状況にあるため、学校跡地を利用している団体の今後の活動の場となる役割を担っていきます。



〔図14〕令和元年度学校開放種目別利用割合



〔図15〕令和元年度学校跡地種目別利用割合



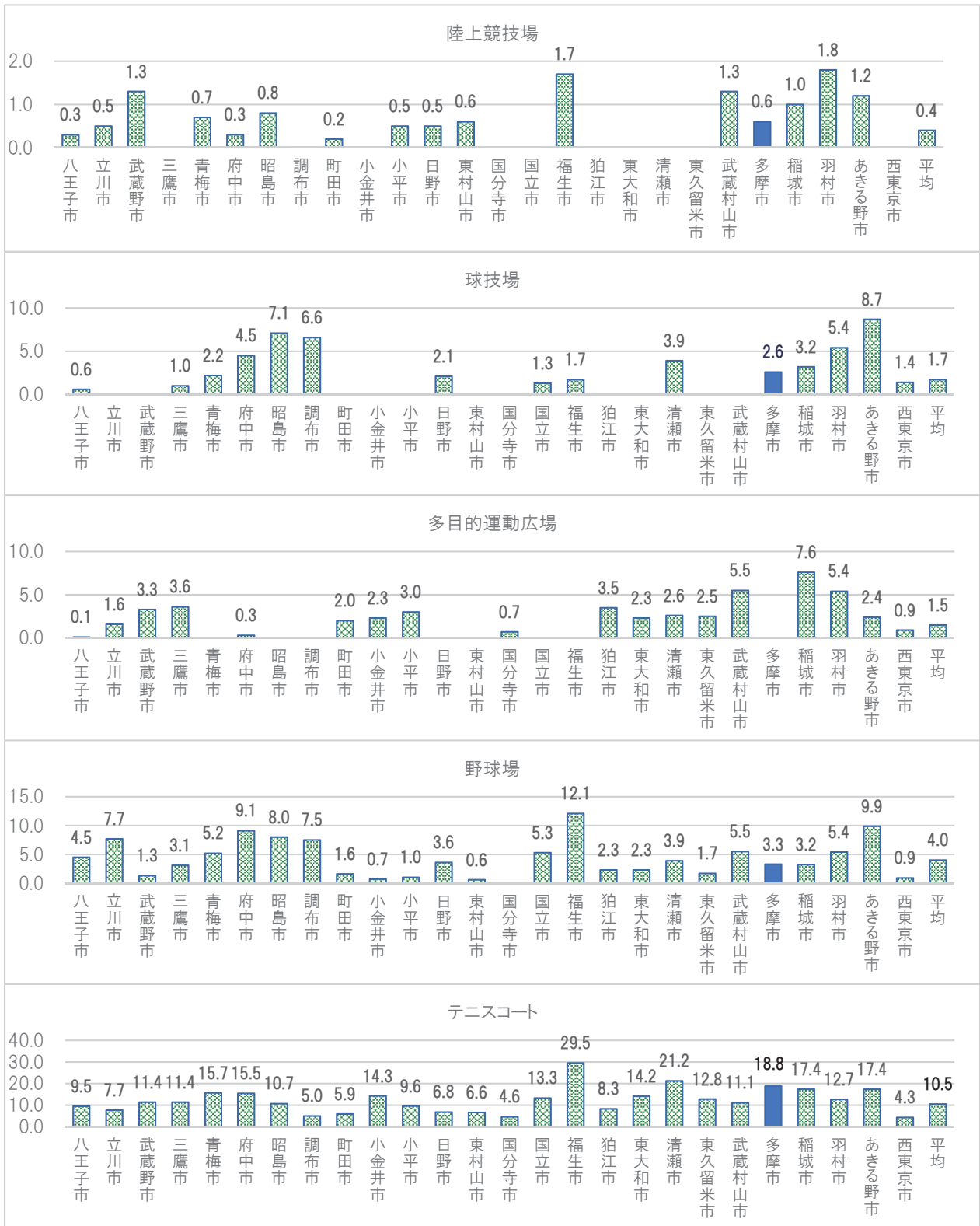
表6 学校開放・学校跡地における屋外スポーツの稼働率（令和元年度）

施設		稼働率（％）						
		校庭・グラウンド（日中）		校庭・グラウンド（夜間）		庭球場		
		平日	土日	平日	土日	平日	土日	
学校開放	小学校	多摩第一小学校	－	94.7%	－	－	－	－
		多摩第二小学校	－	78.9%	－	－	－	－
		多摩第三小学校	－	92.6%	－	－	－	－
		連光寺小学校	－	94.7%	－	－	－	－
		北諏訪小学校	－	92.1%	－	－	－	－
		東寺方小学校	－	94.7%	－	－	－	－
		南鶴牧小学校	－	100.0%	－	－	－	－
		聖ヶ丘小学校	－	94.7%	－	－	－	－
		西落合小学校	－	98.4%	－	－	－	－
		大松台小学校	－	97.4%	－	－	－	－
		諏訪小学校	－	100.0%	－	－	－	－
		永山小学校	－	94.7%	－	－	－	－
		瓜生小学校	－	92.1%	－	－	－	－
		東落合小学校	－	100.0%	－	－	－	－
	貝取小学校	－	92.1%	－	－	－	－	
	豊ヶ丘小学校	－	94.7%	－	－	－	－	
	愛和小学校	－	94.7%	－	－	－	－	
	中学校	多摩中学校	－	100.0%	－	－	－	94.7%
		東愛宕中学校	－	42.1%	－	－	－	－
		和田中学校	－	100.0%	96.0%	30.0%	－	31.6%
		諏訪中学校	－	63.7%	－	－	－	78.9%
		聖ヶ丘中学校	－	47.4%	－	－	－	100.0%
		鶴牧中学校	－	97.4%	100.0%	50.0%	－	94.7%
		多摩永山中学校	－	95.8%	100.0%	30.0%	－	48.4%
		落合中学校	－	44.2%	－	－	－	26.3%
	青陵中学校	－	－	－	－	－	50.0%	
	学校跡地	旧北貝取小学校	65.7%	87.8%	－	－	－	－
		東永山複合施設	100.0%	92.6%	－	－	－	－
南永山社会教育施設		60.4%	83.7%	－	－	－	－	
旧豊ヶ丘中学校		4.0%	80.0%	－	－	100.0%	100.0%	
旧西落合中学校		48.0%	78.9%	－	－	100.0%	100.0%	
西永山複合施設(テニスコート)		－	－	－	－	80.0%	100.0%	

(3)都内 26 市公共スポーツ施設数比較

「東京都における公立スポーツ施設 令和元年度版」（令和2年2月東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課発行）より、都内 26 市に設置されている公立スポーツ施設の施設面数を、令和2年1月時点における人口を用いて人口 10 万人当りで比較しました。（図 16）

陸上競技場や野球場の面数については、概ね都内 26 市平均と同程度でした。球技場（サッカー、ラグビー、ホッケーなど、球技での利用を主とする施設）については、都内 26 市平均を上回っていますが、他自治体では設置のある多目的運動広場（土地面積が 992 m²以上で、必要に応じて各種スポーツが行える施設）が多摩市には設置されていない状況にあることが分かりました。テニスコートは他自治体に比較して数多くの面数を設置している状況にありましたが、これは多摩市のテニスの競技人口が全国に比較して多く、施設利用ニーズが大きいからです。



〔図 16〕 都内 26 市人口 10 万人当り施設面数

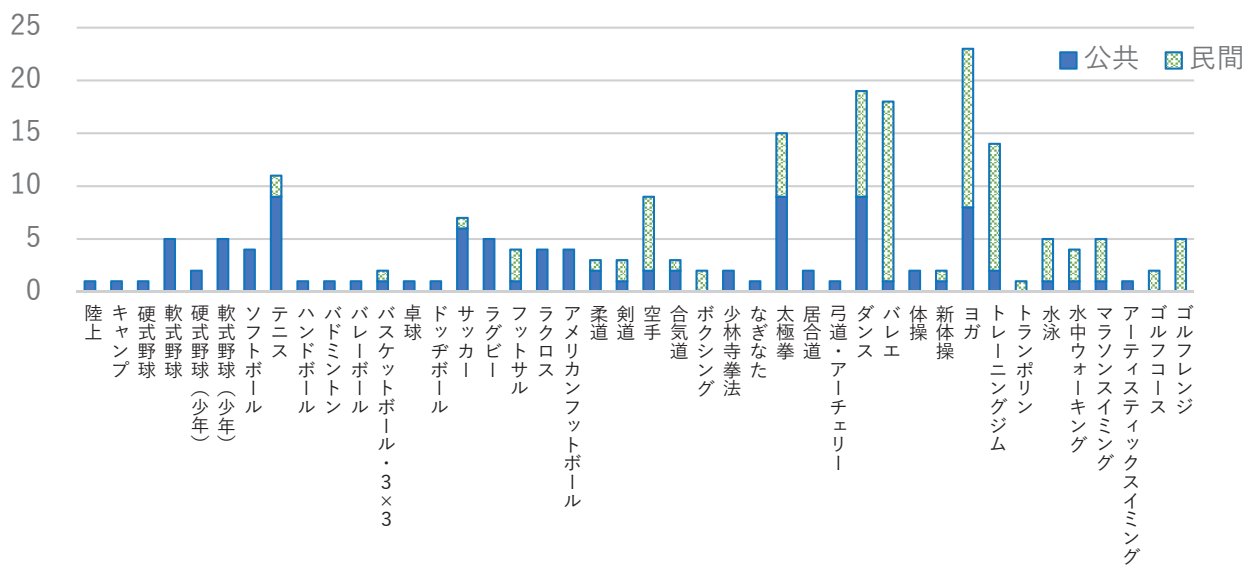
(4)近隣地域における公共・民間スポーツ施設調査

① 市内の公共スポーツ施設と民間スポーツ施設の設置状況

市内の公共スポーツ施設と民間スポーツ施設の設置状況を表7、公共・民間スポーツ施設で提供されている種目状況を図17に示します。

表7 市内の公共・民間スポーツ施設数

施設	公共	民間	対象種目
陸上競技場	1	0	陸上競技（トラック、フィールド）
庭球場	9	2	テニス（硬式、軟式）
野球場	5	0	野球（硬式、軟式）、ソフトボール
武道場	9	13	柔剣道、柔道、剣道、空手、合気道、ボクシング、少林寺拳法、なぎなた、太極拳、居合道、弓道、アーチェリー、相撲などの武道、フェンシング、レスリング
プール	1	4	水泳、ウォーキング、アーティスティックスイミング、飛込、競泳、水球、マラソンスイミング
体育館	2	1	ハンドボール、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球、インドアホッケー、3×3 バスケットボール、ドッチボール
球技場	7	4	サッカー、ラグビー、フットサル、ホッケー、ビーチバレー、ミニフットサル、ラクロス、アメリカンフットボール
キャンプ場	1	0	キャンプ（屋外で宿泊可能なもの）
ゴルフ場	0	7	ゴルフ（ゴルフコース、ゴルフレンジ）
多目的ホール	9	32	ダンス、バレエ、体操、新体操、ヨガ、トレーニングジム、トランポリン

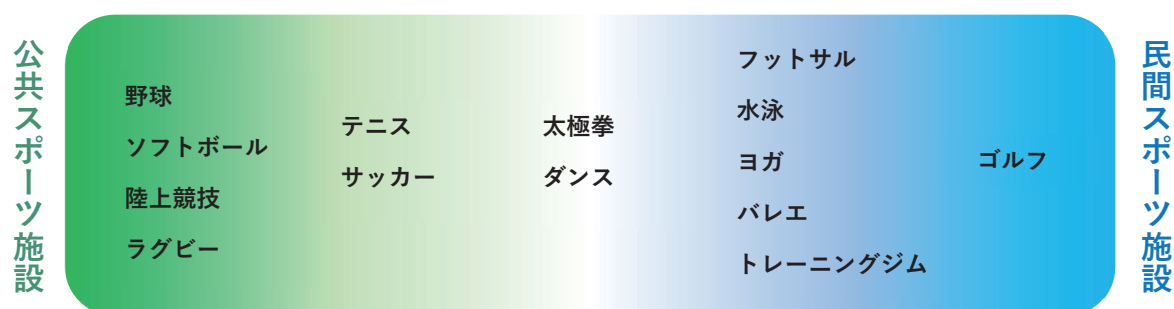


〔図17〕市内の公共・民間スポーツ施設で提供されている種目状況

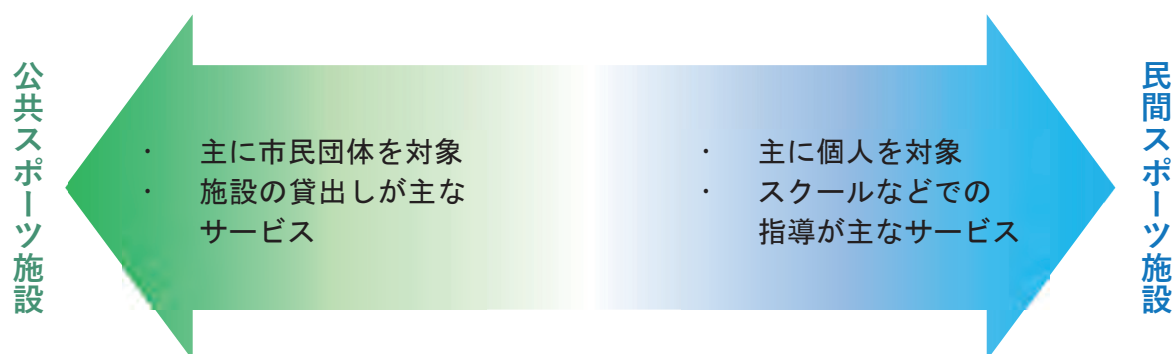
② 公共スポーツ施設と民間スポーツ施設の役割分担

陸上競技場、野球場などの比較的大規模なスポーツ施設は、公共が提供している施設のみで民間では提供されていません。一方でゴルフ場は、公共施設では整備していませんが、民間施設ではゴルフコースやゴルフ練習場が整備されています。また、公共と民間の両方のスポーツ施設で利用可能な種目については、公共施設では市民団体を対象とした施設の貸し出し機能が主体であり、民間施設ではスクールなどでの指導が主なサービスとなっています。

● スポーツ競技による公共と民間の領域（イメージ）



● 提供するサービスの違いによる役割分担



(5) 民間事業者ヒアリング

① 調査の目的

現在、屋外スポーツ施設の管理運営については指定管理者制度を導入し、民間事業者の能力（ノウハウ）を活かした管理運営を行っています。一方で、今後は多くの老朽化した屋外スポーツ施設が更新時期を迎えることから、民間事業者ヒアリングは施設改修の設計、建設も含めた維持管理・運営について、民間活力の導入を図ることの課題や実現可能性について、調査することを目的として実施したものです。ヒアリングの対象施設は、一本杉公園野球場と大谷戸公園キャンプ練習場としました（表8）。2施設について各3事業者に対してヒアリング調査を実施しました。

表 8 調査対象施設と選定理由

対象施設	選定理由
一本杉公園野球場	一本杉公園野球場はナイター照明、会議室、選手更衣室、管理棟が完備され、市内の市営球場の中で整備水準が高く、東京都高等学校野球連盟が開催する試合会場としても使用されている。一方で維持管理費や更新工事費が高く、新たな活用も含めた検討が必要なため。
大谷戸公園 キャンプ練習場	大谷戸公園キャンプ練習場は都立桜ヶ丘公園と接し、付近は緑豊かな環境となっている一方で稼働率は低い。キャンプ場運営は民間企業の参入が期待できる分野であり、今後、施設の魅力向上や財源確保のために民間活力導入の検討が必要なため。

② 調査結果

【一本杉公園野球場】

【結論】

一本杉公園の立地条件から集客力に限界があり、施設更新を含めた民間活力の導入に大きな効果は期待できないことが確認されました。

- ① 一本杉公園野球場は立地条件が悪く、集客力に課題があるため、公園のみではなく、更に広域的な視点で集客できる仕組みと市場が必要であるとの意見がありました。
- ② 野球場単体では事業規模が小さいため公園全体とした事業規模の拡大が必要だとする意見がありました。
- ③ 新たに集客施設などの建築物を設置するための費用については、民間が資金を投資し、利用料金収入で回収できるという事例はほとんどなく、多くが公共側の負担に期待している状況とのことでした。

【大谷戸公園キャンプ練習場】

【結論】

民間活力の導入条件として、公園全体をキャンプ場にするなど公園そのもののあり方を変更する必要があること、この場合において住宅が近接していることから住環境への影響（煙、声、ごみ、車両など）が大きな課題となり、実現可能性が低いことが確認されました。

- ① 大谷戸公園キャンプ練習場は、立地条件から集客力は見込めるとの意見がありました。
- ② キャンプ練習場のみの面積が 800 m²であり、事業規模としてはかなり小さいため、公園全体をキャンプ場として活用するなどの事業規模の拡大、駐車台数の大幅な増設が必要との意見がありました。
- ③ 民間事業者が参画するには、大幅な利用料金の値上げが必要との意見がありました。
- ④ 運営方法の見直し（かまど以外への火の取扱い範囲拡大、予約方法の改善など）が必要との意見がありました。

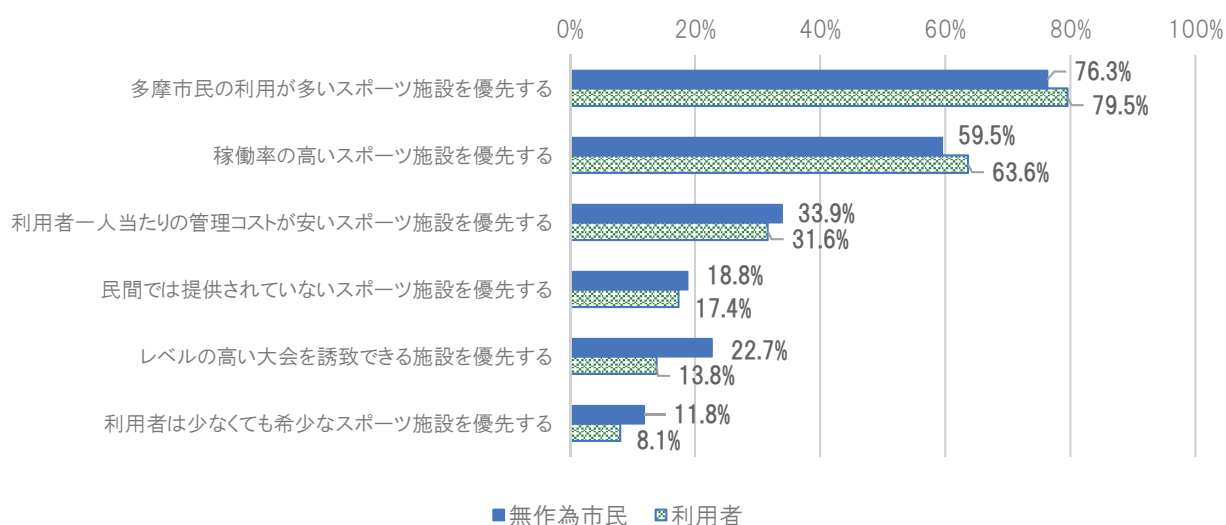
(6)アンケート調査概要

本計画の策定にあたって、対象となる屋外スポーツ施設の平成 30 年度の利用者及び球技団体代表者、無作為に抽出した市民約 2,000 人を対象として、屋外スポーツ施設に関するアンケート調査を実施しました。主なアンケート結果は次のとおりです。

① 今後の屋外スポーツ施設の整備について

本市にある屋外スポーツ施設の整備にあたり、優先すべき事項について、無作為市民及び利用者に対して、今後の整備方針の考え方を調査しました。

無作為市民、利用者ともに「多摩市民の利用が多いスポーツを優先する」「稼働率の高いスポーツ施設を優先する」との意見が多くありました。

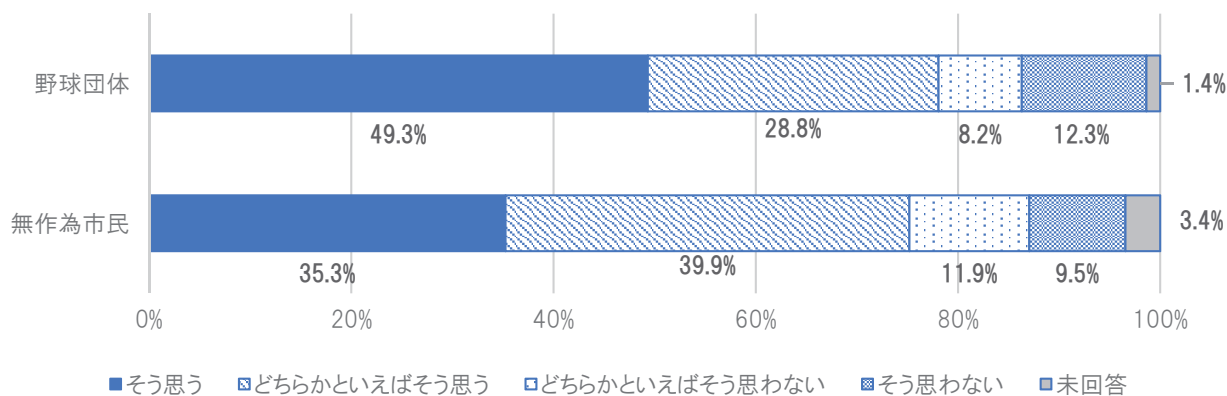


② 一本杉公園野球場の見直しについて

一本杉公園野球場は、観客席や管理棟を有するなど他の施設より規模が大きいため、維持管理費の負担が大きいことについて、野球団体、無作為市民に対して対応案の考え方を調査しました。

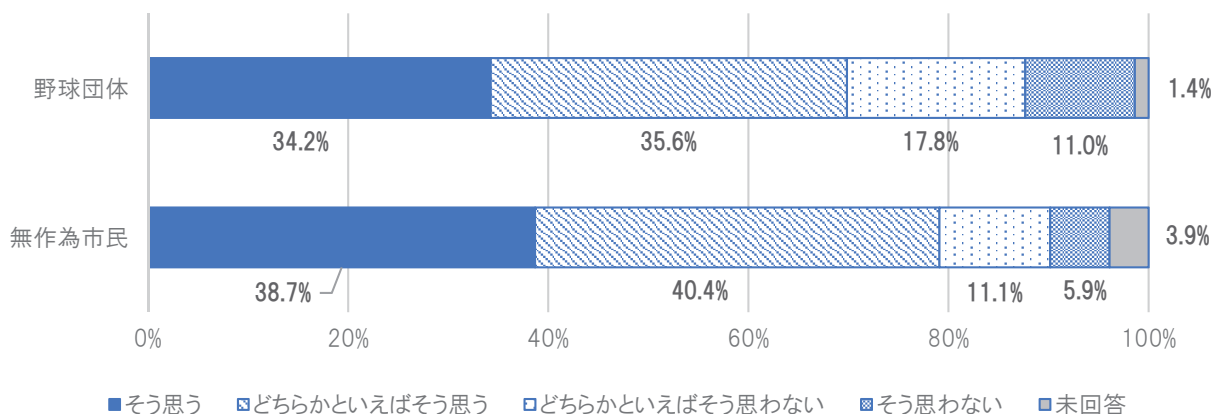
対応案 1：管理棟やナイター設備について必要性や整備水準を見直し、施設の維持管理費用及び今後見込まれる更新工事費用を引き下げると同時に、施設利用料金を引き下げ、市民団体が利用しやすい施設を目指す

野球団体と無作為市民の約 8 割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。



対応案2：グラウンド整備回数の見直しなど、日常的な施設の維持管理費用を引き下げることで、費用効率の良い施設を目指す。

野球団体の約7割、無作為市民の約8割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

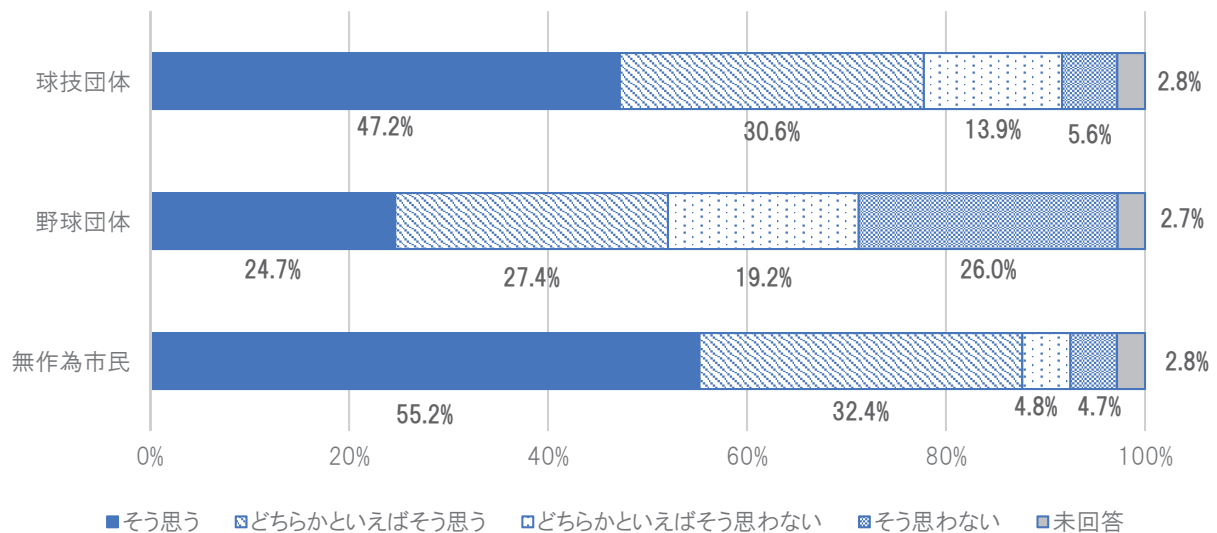


③ 球技場・野球場の多目的利用について

球技場、野球場は全般的に平日の稼働率が低いため、専用の球技場ではなく多目的利用することについて、球技団体、野球団体、無作為市民に対して多目的利用の考え方を調査しました。アンケート結果から多くの市民が利用可能種目の拡大に賛成していることが確認されました。

対応案1：施設の利用可能種目を広げ、多くの人に利用してもらい、有効に活用される施設を目指す。

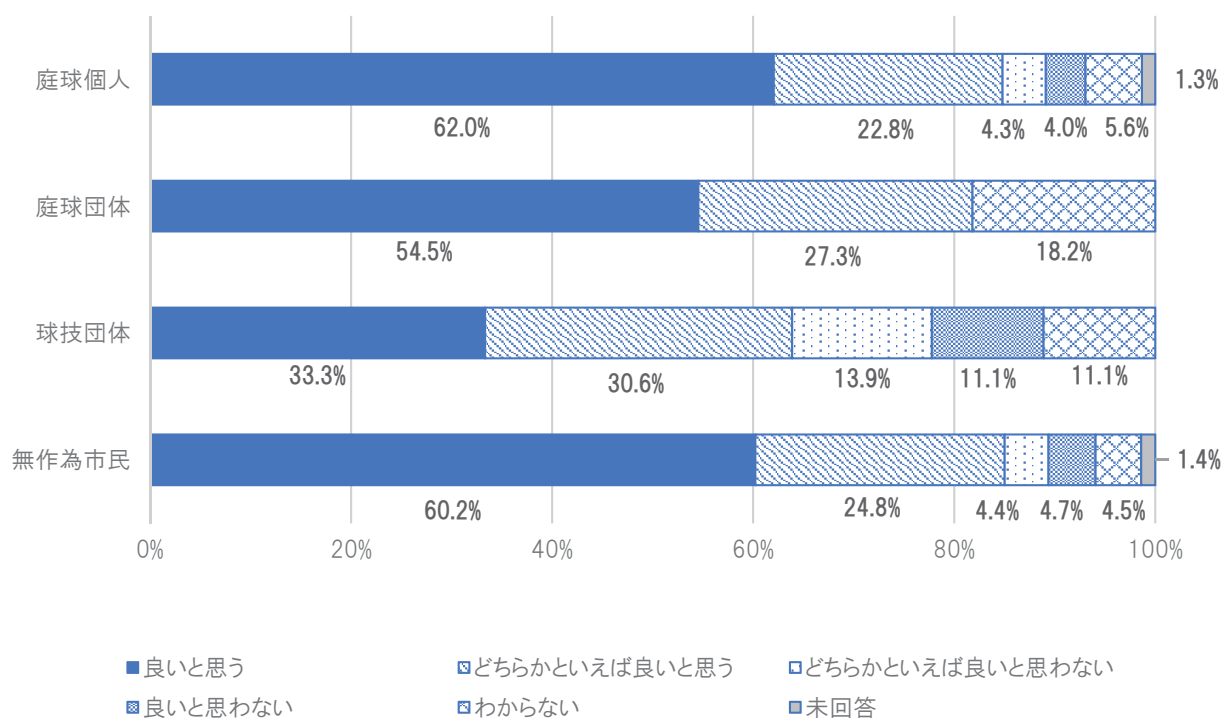
球技団体の約8割、野球団体の約5割、無作為市民の約9割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。



④ 台風等の被害対応について

一ノ宮公園球技場・庭球場は令和元年の台風19号により大きな被害を受け、復旧工事を行いました。近年、台風や豪雨などによる浸水被害の発生が多くなると懸念されています。このような中で、今後、河川敷に設置された屋外スポーツ施設が浸水被害を受けた場合には、毎回、復旧工事を行うのではなく、屋外スポーツ施設を撤去して災害に強く多目的な利用が可能な公園広場として整備することについて、球技団体、庭球個人及び団体、無作為市民に対して多目的利用の考え方を調査しました。

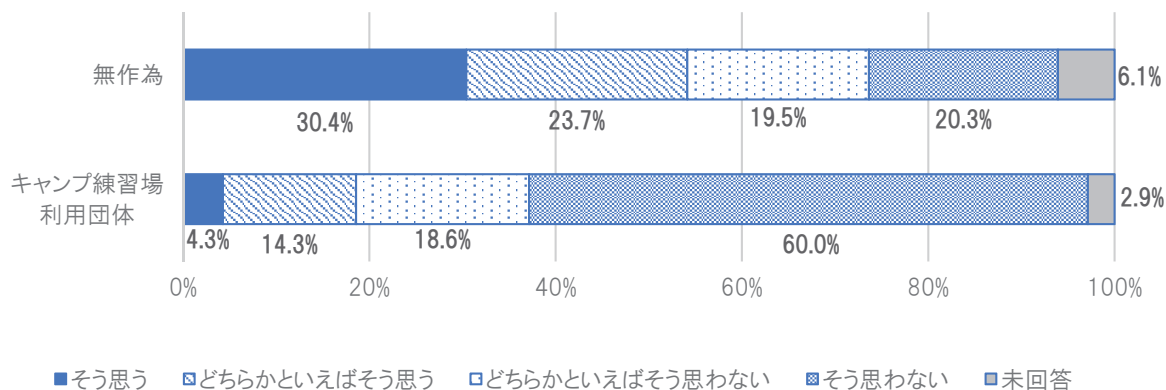
庭球個人及び団体の約8割、球技団体の約6割、無作為市民の約8割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。



⑤ 大谷戸公園キャンプ練習場の今後の在り方について

大谷戸公園キャンプ練習場は、施設の稼働率が低く、安全管理のため1団体でも利用があれば現地に管理人を配置する必要があることから、維持管理費が高い要因となっています。加えて専用駐車場がないため、広く利用者を集めることができないという課題があります。これらの課題の解決が困難な場合には施設の廃止も含めた検討を行うことについて、キャンプ練習場利用団体、無作為市民に対して今後の施設の在り方を調査しました。

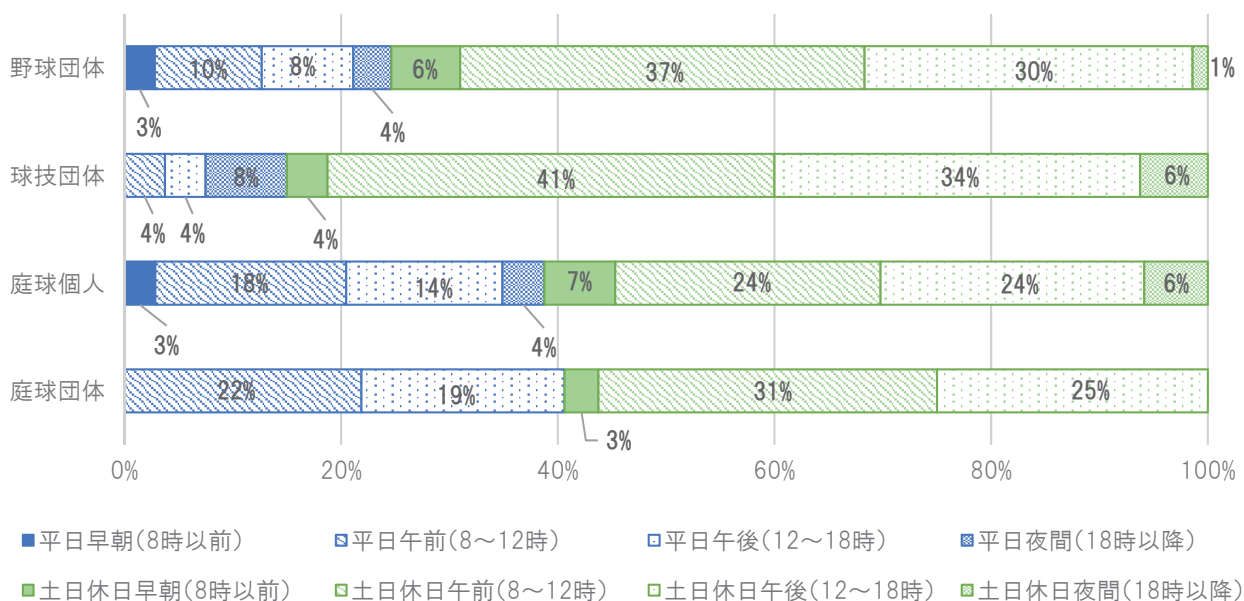
無作為市民の約4割、キャンプ練習場利用団体の約8割が「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答しました。



⑥ 施設を利用したい時間について

施設を利用したい時間について、野球団体、球技団体、庭球個人、庭球団体に対して調査しました。

野球団体の約7割、球技団体の約8割が「土日休日の午前」「土日休日の午後」と回答しました。庭球個人の約3割、庭球団体の約4割が「平日午前」「平日午後」と回答し、また、庭球個人の約5割、庭球団体の約6割が「土日休日の午前」「土日休日の午後」と回答しました。



■ サッカー

友達と一緒にサッカーをしていると楽しいです。多摩市のサッカー大会での優勝を目標に頑張っています！将来はサッカー選手になりたい！



シュートを決めた時はすごく楽しいです。サッカーでは自分が一番うまくなって、将来はなでしこの選手になりたいです。

多摩市では大人から子どもまで、多くのサッカーチームがあり、活発な活動が行われています。市内には宝野公園球技場、和田公園球技場など、サッカーのできる球技場があるほか、陸上競技場には天然芝のフィールドがあり各種大会会場や東京ヴェルディの練習拠点にもなっています。



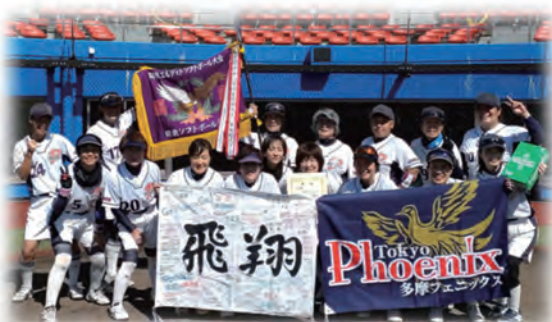
和田公園球技場

■ ソフトボール



10代から70代まで幅広い年代のメンバーがいるチームに所属しています。仲間と一緒にこれからもずっとソフトボールを続けていきたいです。

中学生の時にソフトボールを始めました！公式戦での勝利を目指して仲間と一緒にプレーできることを楽しんでいます。



関東大会で優勝した多摩市内のソフトボールチーム

多摩市内では多くのソフトボールチームが活動しており、関東大会で優勝するなど活躍しています。貝取南公園野球場を主な会場として毎年、市民大会が開催されています。また、日常的に屋外スポーツ施設などを活動拠点とした活動が行われています。

■ターゲットバードゴルフ



ターゲットバードゴルフは何歳になってもできるのが魅力です。大会で優勝できたことは良い思い出です。

20年以上ターゲットバードゴルフ活動をしています。この活動を通じて多摩市の内外に友達がたくさんできました。



<競技解説>

ターゲットバードゴルフは羽付ボールをクラブで打ち、打数の少なさを競う競技です。ルールが分かりやすく、高齢者の体力でも楽しめるスポーツのため、初心者でも気軽に始められます。多摩市内でも日常的に行われているスポーツで、市民大会は一本杉公園野球場の外野（天然芝エリア）を会場として開催されています。



■少年野球



打ったり、キャッチしたり、仲間と協力して試合に勝てた時は嬉しいです。6年生になるまでにホームラン3本打ちたい！



練習することでできなかったプレーができるようになっていくことが楽しいです。仲間と一緒に優勝したい！

<諏訪北公園野球場改修（令和4・5年度予定）>

諏訪北公園野球場は多くの少年野球大会の会場となっています。令和4・5年度に改修工事を予定しており、利用者アンケートや地域での説明会などを行ってきました。駐車場拡張やフェンスの高さ見直し、ダッグアウト整備などを行い、安全にご利用いただけるよう改修する予定となっています。



諏訪北公園野球場

5. 基本方針

(1)現状に対する認識

本市では昭和 46（1971）年に多摩ニュータウン入居が開始され、全国から多くの人が本市に転居し、新しい生活を始める中で、近隣住民同士のつながりや地域への愛着を育み、新たなコミュニティの形成を図ることが必要でした。このようなコミュニティづくりの一環として、市内各所の公園内に設置した屋外スポーツ施設において、地域における市民団体による活発な活動や多くの地域住民が参加する各種大会が開催されるなど、スポーツ活動を通じて、コミュニティの醸成、スポーツの推進、住民の健康増進などが取り組まれてきました。

このように、本市の街づくりにおいて、重要な役割を果たしてきた屋外スポーツ施設は現在においても休日を中心に子どもから高齢者まで幅広く活用されている状況にあります。また、各施設の収支状況については、多くの施設で市民が利用する公共施設の使用料設定にあたっての統一的な基準などを定めた「公共施設の使用料設定にあたっての基本方針」（平成 29 年5月改定）に規定する屋外スポーツ施設の受益者負担率 75%を超える又はこれに近い受益者負担率により運営されており、収支状況についても健全な状況にあります。

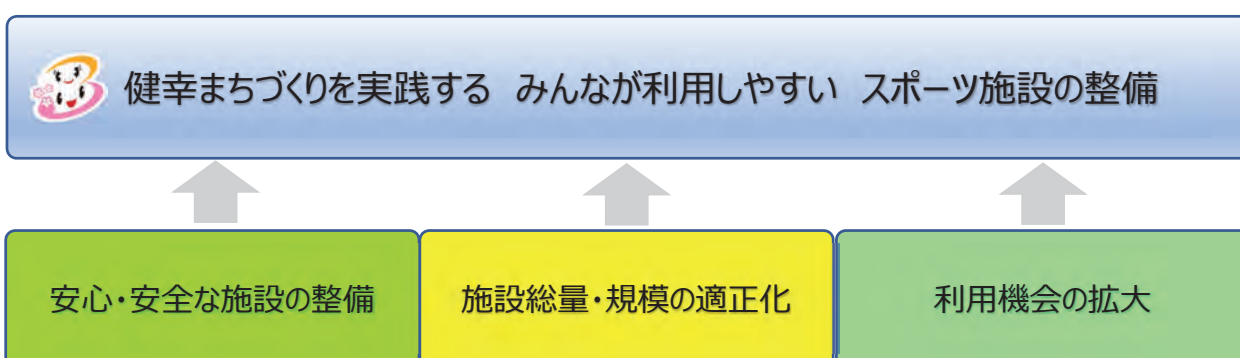
一方で、施設の老朽化など屋外スポーツ施設における様々な課題を解決するとともにスポーツ競技の多様化といった環境の変化にも対応していかなければなりません。また、多くの施設について老朽化などに対応した更新工事を行っていくことで、現在は良好な受益者負担率も今後は低下していくことが見込まれます。

以上のことから、本計画の策定目的であるスポーツ環境の向上及び財政負担の軽減・平準化を実現するため、各種課題の解決と時代の変化に合わせた各施設の今後の方向性を本計画に定め、着実に実施していくこととします。

(2)基本目標

今後のスポーツ施設の在り方について、第五次多摩市総合計画の第 3 期基本計画の基盤となる考え方である「健幸まちづくりのさらなる推進」や、本計画の上位計画である多摩市スポーツ推進計画の基本目標「スポーツで創り出す『みんなが笑顔』でつながるまち 多摩」を実現するため、本計画の基本目標を「健幸まちづくりを実践する みんなが利用しやすい スポーツ施設の整備」と定めます。

この基本目標を実現し、多くの市民がスポーツに親しめるスポーツ施設を維持していくために、3つの方針「安心・安全な施設の整備」、「施設総量・規模の適正化」、「利用機会の拡大」を推進していきます。



【安心・安全な施設の整備】

- ・ 定期的な施設の安全点検や劣化状況などから将来を予測して補修などを実施する予防保全型の施設管理を行うことで安全に利用できる施設を目指します。
- ・ バリアフリー対応により高齢者、障がい者を含めた全ての市民が安心して利用できる施設を目指します。
- ・ 熱中症予防対策として必要な施設整備を図るとともに、感染症予防対策を含め利用者の安全を考慮した施設運用を実施します。

【施設総量・規模の適正化】

- ・ 市民利用率や収支状況などに課題のある施設については、設備の見直しなどによる規模の縮小や用途転用も含めた見直しを検討していくことで、スポーツ施設全体の総量適正化とライフサイクルコスト^{注1}の縮減を目指します。
- ・ 限られた財源で、継続的にスポーツのできる環境を整備・維持するために、スポーツ競技人口の変化、市民ニーズをとらえて、施設総量と規模の適正化を図ります。
- ・ 多摩ニュータウン再生など広域的な街づくりの方針策定や見直しなどがある際には、都市整備と連携した施設の集約化などについて、検討を行います。

【利用機会の拡大】

- ・ スポーツ競技の多様化に応じて、利用可能競技を限定した施設から、より多くのスポーツ競技が実施可能な施設を目指します。
- ・ 多くの市民にスポーツを行う機会を提供し、施設の有効利用を図るため、各施設の特性を考慮し、団体だけではなく個人単位でも利用可能な施設運用を目指します。
- ・ 公園駐車場拡充については、本計画の対象施設では無いことから、本計画とは別に検討を進めます。

注1 ライフサイクルコストとは、施設などが設置されてからその役割を終えるまでに係る費用の総計です。



(3)今後の方向性

3つの方針を踏まえ、各施設における整備の方向性は次のとおりとします。また、各施設の課題、今後の方向性及び更新のスケジュールなどについては、資料編「施設カルテ」に各施設の基本情報とともに掲載しています。

① 野球場・球技場

- ・ 一本杉公園野球場は、収支状況や今後見込まれる更新工事費及び市内団体利用が少ない点に課題があります。そのため、市民や利用者意見を踏まえ「観る野球場」から「多摩市民にとって日常的に使いやすい屋外スポーツ施設」への転換を図ります。そのため、ナイター照明及び大型スコアボードは廃止します。同時に、管理棟や観客席については、縮小・廃止も含めた見直しを検討します。また、グラウンド整備内容の見直しを検討します。このような見直しにより更新費・維持管理費の減額が見込まれることから、市内の野球団体が利用しやすい施設利用料金への見直しを検討します。
- ・ 一部のスポーツ競技に対応するのではなく、より多くのスポーツ競技ができる場への転換を検討します。
- ・ 対応競技の多目的化とあわせて施設名称の変更を検討します。
- ・ 団体予約のっていない時間帯などに少人数での利用や自由開放など、柔軟な利用ルールを検討するとともに、適用可能な施設を検討します。
- ・ フェンスが未設置のため施設利用者や公園利用者の安全が確保できていない施設においては、新たなフェンスの整備を検討し、利用者の安心・安全を確保します。特に、諏訪南公園野球場・球技場については、フェンスの整備の検討を進めます。
- ・ 一ノ宮公園球技場は、市内団体の利用が少なく、気候変動による豪雨被害のリスクを想定することが必要であり、将来的に災害の影響を受けにくく、誰でも気軽に運動できる場への転換を検討します。

② 陸上競技場(グラウンド)

- ・ 陸上競技場については、大規模改修を終えた令和2年度より指定管理者制度が導入されました。今後は民間ノウハウを活用した施設の有効利用を図るとともに、多摩市が協定を結ぶプロスポーツチームとの連携・協働の推進を図る場として、現状を維持していきます。
- ・ 事業の実施や市内の小中学校での利用などにより、より多くの市民に利用されるように努めます。

③ 庭球場

- ・ 本市はテニスの競技人口が多いという特徴があり、このことに対応して既に他自治体に比較して多くの庭球場を整備しています。そのため、現状の施設を維持し長寿命化を図っていくことを基本とします。
- ・ 一方で、一ノ宮公園庭球場は、施設稼働率が低く、気候変動による豪雨被害のリスクを想定す

ることが必要です。そのため、災害の影響を受けにくく、誰でも気軽に運動できる場への転用を検討します。

- ・ 多摩市の庭球場は稼働率が高く利用者数も多いことから、人工芝については 10 年間隔を基準に張替えを行います。
- ・ 庭球場で使用される人工芝はプラスチック製であることから、これまで植物由来樹脂を 25% 以上使用した人工芝を使用するなど環境に配慮した取り組みを行っています。このような取り組みに加え、マイクロプラスチック排出を抑制するための施設運営や管理方法について研究し実施していきます。

④ キャンプ練習場

- ・ キャンプ練習場については、稼働率などに課題がある一方で、今後の施設の在り方について、廃止を含めた検討をすることについては、望まないとする市民意見が一定数あることから、施設を維持しつつ、必要な見直しを行っています。
- ・ 現在のキャンプスタイルにあった利用方法とするため、利用者が持参するキャンプ道具で火を扱えるようにするなど、利便性の向上を図ります。
- ・ 利用料金制による指定管理者へのインセンティブが適切に働くよう、利用料金の上限額について見直しを検討するなど、利用料金収入と管理費のバランスを図ります。

⑤ 各施設共通

駐車場台数の不足については、屋外スポーツ施設は全て公園内施設であることから、公園内の設備配置状況や地形などを鑑み、可能な限りの拡張を検討するとともに、公園利用者も考慮して有料化を検討します。また、バリアフリー対応についても改善を図っていきます。

コラム 屋外スポーツ施設利用者の声 ～実践 健幸まちづくり～

■ ラグビー

難しいプレーを成功させたときが楽しいです。もっと大勢の女子にラグビーの楽しさを知ってもらって、ラグビーを実際にやってもらいたいです。



多摩市立陸上競技場

仲間との信頼関係を大切にプレーしています。将来はプロの選手として活躍したいです！



2019 年に日本で開催されたラグビーワールドカップ 2019 では多くの方が感動し、ラグビー競技に大きな魅力を感じたのではないのでしょうか。多摩市内では男子だけではなく、女子も含めて多くの子ども達がラグビーに挑戦しています。

コラム 多摩市立陸上競技場・多摩東公園庭球場改修

■改修概要（令和元年度）

老朽化した施設の更新及びバリアフリー対応を図るための改修工事を実施しました。改修により陸上競技場は綺麗なブルーに変わり、テニスコートは砂入り人工芝になるとともにクレーコート1面が増設され、合計7面が整備されました。改修後の陸上競技場は東京 2020 パラリンピックにおいてアイスランド選手の練習施設としても利用されました。



■陸上競技場及び庭球場工事施工事業者の声

陸上競技場のフィールド及び多摩東公園庭球場改修工事は株式会社多摩ニュータウンサービス及び日本体育施設株式会社の合同企業体により施工されました。工事を担当していただいた萩生田さん、川口さんのお二人に話を伺いました。

私は地元出身で、子どものころによく利用していたスポーツ施設の改修工事を施工できて嬉しかったです。工事にあたっては施工後に利用する利用者の視点にたって取り組みました。テニスコートでは適切にボールがバウンドするよう平坦性には特に気をつけて施工しました。



（株）多摩ニュータウンサービス
萩生田さん



日本体育施設（株）
川口さん

完成したテニスコートや陸上競技場を利用者が喜んで使っている姿を見て感動しました。子どもから高齢者まで安心安全に使えるよう心がけた施工に努めています。



路盤工事を施工中の多摩東公園庭球場 A 面付近

（令和元年 11 月撮影）



工事の最終段階では、陸上競技場トラックの摩擦抵抗やテニスコートでのボールの跳ね返りを検査し、安全かつ適切に競技ができるか入念に確認作業を実施。

（令和2年2月撮影）

6. 管理更新計画

(1) 年次計画

本計画における施設毎の改修などの実施時期及び予定する実施内容を以下の表9に示します。年間の実施可能な工事数量を考慮し、毎年度1から3施設程度の工事としています。実施時期については、公園改修と合わせて実施することを基本とし、老朽化が進行している施設については優先的に更新を行います。具体的な実施内容については、施設の劣化状況や利用者意見などを鑑みて、個別施設毎の更新工事時に検討していくこととなります。

表9 年次計画（令和4年度から令和13年度まで）

計画年次	1	2	3	4	5
令和	4	5	6	7	8
西暦	2022	2023	2024	2025	2026
スポーツ施設①	諏訪北公園野球場・庭球場 住宅市街地総合整備事業により公園と合わせて全体更新		永山南公園 庭球場 人工芝張替え等	諏訪南公園野球場兼 球技場 公園改修に合わせて 全体更新	一本杉公園 庭球場・野球場 PCB廃棄物の処理期限に基づき電気設備更新
スポーツ施設②	貝取北公園 庭球場 人工芝張替え等				
スポーツ施設③	連光寺公園 庭球場 人工芝張替え等				
計画年次	6	7	8	9	10
令和	9	10	11	12	13
西暦	2027	2028	2029	2030	2031
スポーツ施設①	貝取南公園 野球場 公園改修に合わせて 全体更新	愛宕東公園 庭球場 公園改修に合わせて 全体更新	一本杉公園野球場 公園施設長寿命化計画との連携を検討し全体更新		奈良原公園 庭球場 公園改修に合わせて 全体更新
スポーツ施設②	貝取南公園 球技場 公園改修に合わせて 全体更新		一本杉公園庭球場 公園施設長寿命化計画との連携を検討し全体更新		多摩東公園 庭球場 人工芝張替え等
スポーツ施設③			宝野公園 球技場 公園改修に合わせて 全体更新		

本計画の対象期間は令和 13 年度までとなっていますが、現時点での施設の劣化状況などから想定される令和 14 年度以降令和 23 年度までの施設更新の見込みを参考に表 10 に示します。

表 10 令和 14 年度以降令和 23 年度までの施設更新見込み（参考）

計画年次	11	12	13	14	15
令和	14	15	16	17	18
西暦	2032	2033	2034	2035	2036
スポーツ施設①	連光寺公園 庭球場 人工芝張替え等	和田公園 球技場 公園改修に合わせて 全体更新	貝取北公園 庭球場 公園改修に合わせて 全体更新		関戸公園 野球場 公園改修に合わせて 全体更新
スポーツ施設②		諏訪北公園 庭球場 人工芝張替え等	永山南公園 庭球場 人工芝張替え等		
スポーツ施設③					
計画年次	16	17	18	19	20
令和	19	20	21	22	23
西暦	2037	2038	2039	2040	2041
スポーツ施設①		愛宕東公園 庭球場 人工芝張替え等	一本杉公園 庭球場 人工芝張替え等	陸上競技場 老朽化更新	多摩東公園 庭球場 人工芝張替え等
スポーツ施設②					奈良原公園 庭球場 人工芝張替え等
スポーツ施設③					

(2) 予防保全型管理への転換

設備の劣化や損傷を未然に防止するとともに、設備の寿命を延ばしてライフサイクルコストの縮減を図るために、設備の定期点検を実施します。健全度調査を本計画更新時点（10年に1度）、簡易的に健全度を判定する一般点検を本計画の中間見直し時点（健全度調査の5年後）に行います。調査結果をもとに、補修が必要な部位の特定や補修方法・更新時期などを検討し、施設の状態に応じて適切な対策を講じます。なお、定期点検の実施時期については計画の見直しや更新時期により変更する場合があります。

● 日常的な維持保全（清掃・保守など）

ごみや落ち葉などの清掃、グラウンドの整備など、比較的対応が容易なものについては日常の維持作業により措置します。また、日常的に施設を巡回し、劣化や損傷を確認した場合には部分的な修復や消耗材の部品交換などにより改善を図ります。

※施設や設備の具体的な維持管理方法は、「平成 26 年増補改訂版 屋外スポーツ施設の維持管理マニュアル」を指針とします。

(3) 本計画の実施に係る将来費用と財源

① 更新に係る費用

施設の更新に係る費用を表 11 に示します。

表 11 更新に係る試算対象費用

	名称	内容														
1	撤去更新費	既設設備の撤去及び新規設置に係る費用で、事業者ヒアリング、メーカーカタログ、土木施工単価などを参考に算出。														
2	補修費	修理や主要部材などの交換費用で、事業者ヒアリング、メーカーカタログ、土木施工単価などを参考に算出。														
3	諸経費	諸経費は以下のように設定する。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>直接工事費</th> <th>諸経費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">更新</td> <td>5 百万円以下</td> <td>直接工事費の 50%</td> </tr> <tr> <td>5 百万円超</td> <td>直接工事費の 40%</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>-</td> <td>補修費の 30%</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>-</td> <td>更新費の 30%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	直接工事費	諸経費率	更新	5 百万円以下	直接工事費の 50%	5 百万円超	直接工事費の 40%	補修	-	補修費の 30%	撤去	-	更新費の 30%
項目	直接工事費	諸経費率														
更新	5 百万円以下	直接工事費の 50%														
	5 百万円超	直接工事費の 40%														
補修	-	補修費の 30%														
撤去	-	更新費の 30%														
4	定期点検費	健全度調査費、一般点検費の概算費用については事業者ヒアリングによる。														

※設計費は、工事の規模により設計委託の必要性や設計の実施時期が異なるため、試算には含めていません。

② 平準化の目安

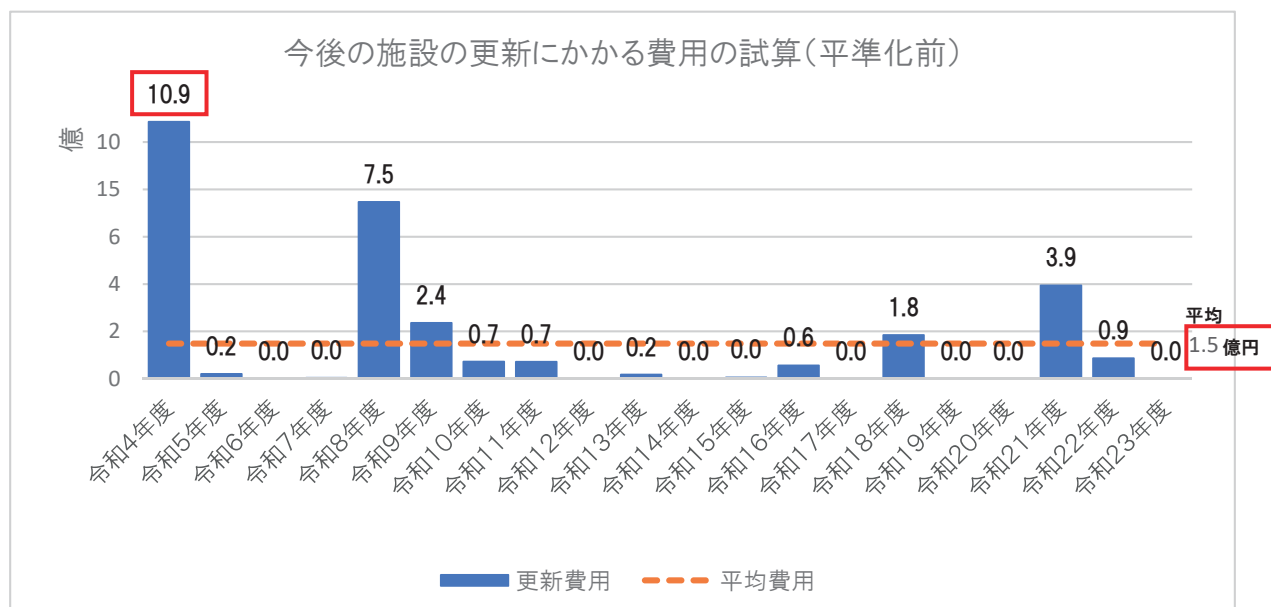
更新に要する費用が一時期に集中することを防ぎ、可能な限り全体的に均一にすることで、財政負担の平準化、世代間の公平負担、業務の平準化を図ります。本計画を実施した場合に係る単年度当りの平均更新費用を、1年あたりにかける更新費用の目安とします。一本杉公園野球場や陸上競技場などの大規模施設の更新を、単年度当りの平均更新費用内で実施することは困難なため、目安から大きく上回ることがないように平準化を図ります。

③ 施設の更新に係る費用の見込み

今後、屋外スポーツ施設の更新に係る費用の大枠的な傾向を把握するために、中長期的な視点から、令和4年度から令和23年度までの20年間の間に、施設の更新に係る費用を試算します。

図18は、「公園施設長寿命化計画策定指針(案)」の考え方にに基づき、実際に使用が可能と想定される期間(使用見込み期間)を経過したときに施設を更新する場合の見込みです。全体的に施設の劣化が進行していることから、初年度(令和4年度)に係る更新費用は10.9億円となります。

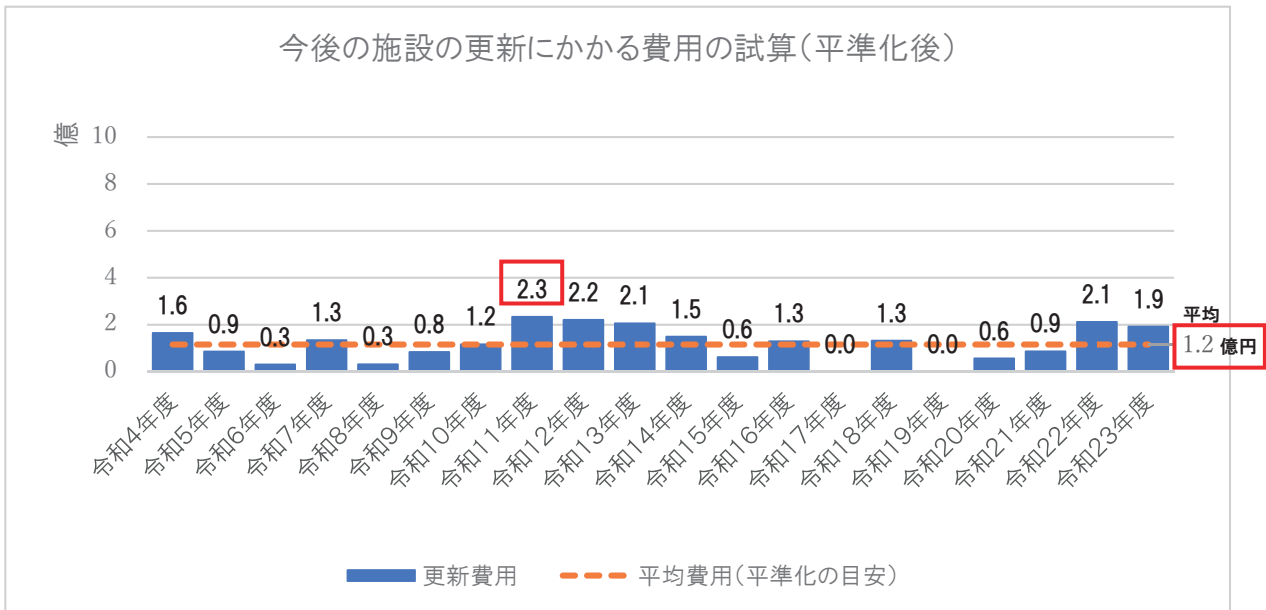
図19は、本計画に則り計画的な更新や予防保全型管理などを実施した場合の見込みです。平準化の目安(単年度当りの平均更新費用)は、1.2億円です。平準化したことにより、単年度当りに係る費用は最も高い年でも2.3億円となる見込みです。



[試算結果] 総額：29.7 億円 平均：1.5 億円

[試算方法] 平準化前費用 = 「撤去更新費」 + 「諸経費」

〔図18〕 今後の施設の更新に係る費用の試算(平準化前)



[試算結果] 総額：23.1 億円 平均：1.2 億円
 [試算方法] 平準化後費用 = 「撤去更新費」 + 「諸経費」 + 「補修費」 + 「定期点検費」
 ※個別施設の今後の方向性に沿い設備の見直しを行った場合の費用を計上しています。

〔図 19〕 今後の施設の更新に係る費用の試算 (平準化後)

④ 削減効果額

本計画を実施したことにより今後 20 年間で 6.6 億円の削減効果が見込めます。(表 12)

この削減効果額は、本計画で以下の対策を実施したことにより見込めるものです。

- ・対象施設の設備機能の見直しなど規模適正化による更新費用の縮減
- ・施設を適切に維持し長寿命化することで見込めるライフサイクルコストの縮減

表 12 10 年毎の更新費用と削減効果額

	令和 4～13 年度	令和 14～23 年度	更新費総額	削減効果額
平準化前	22.5 億円	7.2 億円	29.7 億円	6.6 億円
平準化後	13.0 億円	10.1 億円	23.1 億円	

⑤ その他の経費

施設の維持管理や運営に係る費用として、「①更新に係る費用」のほかに、光熱水費、保守点検費などの施設の維持管理費用や、人件費や施設予約システムなどの施設の運営費用があります。これらの経費は資料編「施設カルテ」に施設毎に掲載しています。

また、工事の規模や内容により設計費(工事費の 10%程度)が発生する場合があります。

⑥ 財源確保策

施設の整備にあたっては、活用可能な補助金制度などを積極的に活用し、財政負担の軽減を図ります。また、公園施設長寿命化計画では都市計画決定されている公園については都市計画事業認可を取得して更新・改修を行うことから、公園と一体となって屋外スポーツ施設の更新を行うことで都市計画税の活用が見込めます。

表 13 活用が見込まれる補助金

補助金制度名	所管官庁等	概要
社会資本整備総合交付金	国土交通省	都市環境の改善や住生活の安定・向上などを図るために、社会資本の整備や取組を支援する補助金。公園施設長寿命化計画と合わせて実施することで活用が見込めます。
スポーツ環境整備費補助金	東京都	スポーツ施設の拡大・充実を図るために、スポーツ環境の整備などの取組を支援する補助金。計画期間において明確に助成対象として見込めるものはありませんが、工事の案件毎に対象となるかどうかを確認し財源確保に努めます。
スポーツ振興くじ助成金	独立行政法人 日本スポーツ 振興センター	子どもからお年寄りまで誰もが身近にスポーツに親しめる環境整備などの財源確保の手段として導入された助成金。計画期間において明確に助成対象として見込めるものはありませんが、工事の案件毎に対象となるかどうかを確認し財源確保に努めます。

※上記補助金のほか、活用可能な補助金がある場合には、同時に活用を行っていきます。

(4)施設運用の見直し

施設の運営にあたり改善が必要な事項について、今後の見直しの内容と実施時期の考え方を以下に示します。

表 14 施設運用の見直しの内容と実施時期の考え方

概要	内容	実施時期の考え方
暑熱還付	熱中症を予防するため、スポーツ実施が困難な酷暑時の利用料金返還を行う。	令和3年7月1日から実施済。
庭球場の早朝枠	夏の熱中症対策として、一ノ宮公園庭球場以外の庭球場においても早朝枠実施を検討する。	令和3年7月1日から多摩東公園庭球場にて試行実施済。その後の運用については試行結果を考慮し検討する。

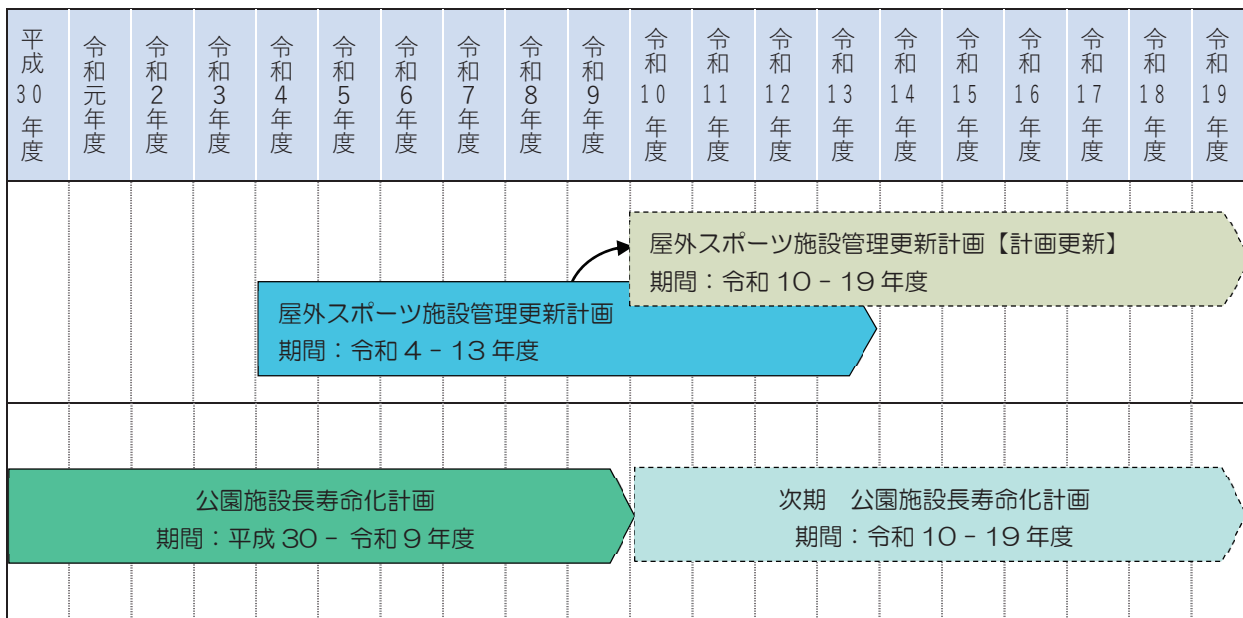
概要	内容	実施時期の考え方
大谷戸公園キャンプ練習場の利用方法の見直し	利用者が持参するキャンプ道具で火を扱えるようにするなど、利便性の向上を図る。また、利用料金の上限額について見直しを検討する。	利用方法の改善など、実施可能なものは早期に実施する。 利用料金については、「公共施設の利用率設定にあたっての基本方針」に従い見直しを検討する。
利用者登録方法の見直し	団体登録の手続き方法について、現在の手続きが適正であるか検証し、必要に応じて見直しを行う。	市民団体の登録などへの影響が大きいことから実態の把握に努め利用者意見を聞きながら計画の前期5年間の中で検討を行っていく。
キャッシュレス決済	スポーツ施設の利用料金の支払い方法について、キャッシュレス決済の導入を研究する。	実施方法や導入範囲などについて研究し、計画の前期5年間の中で検討を行っていく。
多種目対応	現在の施設は限られた競技にのみ利用可能な施設となっていることから、より多くのスポーツ競技に対応していくことを検討する。	広く市民へ周知するために、多種目対応及び個人単位の利用の運用開始とともに、それを広く市民へ伝えることのできる施設名称へ変更するため、本3件については連動して計画の前期5年間の中で検討していく。
施設名称の変更	幅広いスポーツ競技が実施可能で、より多くの市民が利用できることを伝えることのできる施設名称への変更を検討する。	
個人単位の利用	個人を含めたより多くの市民にスポーツを行う機会を提供していくために、個人単位でも利用可能とする運営方法を検討する。	



(5)計画の進行管理

① 計画の更新等

本計画は社会状況などの変化や公園施設長寿命化計画の見直しにあわせて、適宜時点修正を行っていきます。また、公園施設長寿命化計画と連携を図るため、当該計画の改定と同時に本計画を更新します。

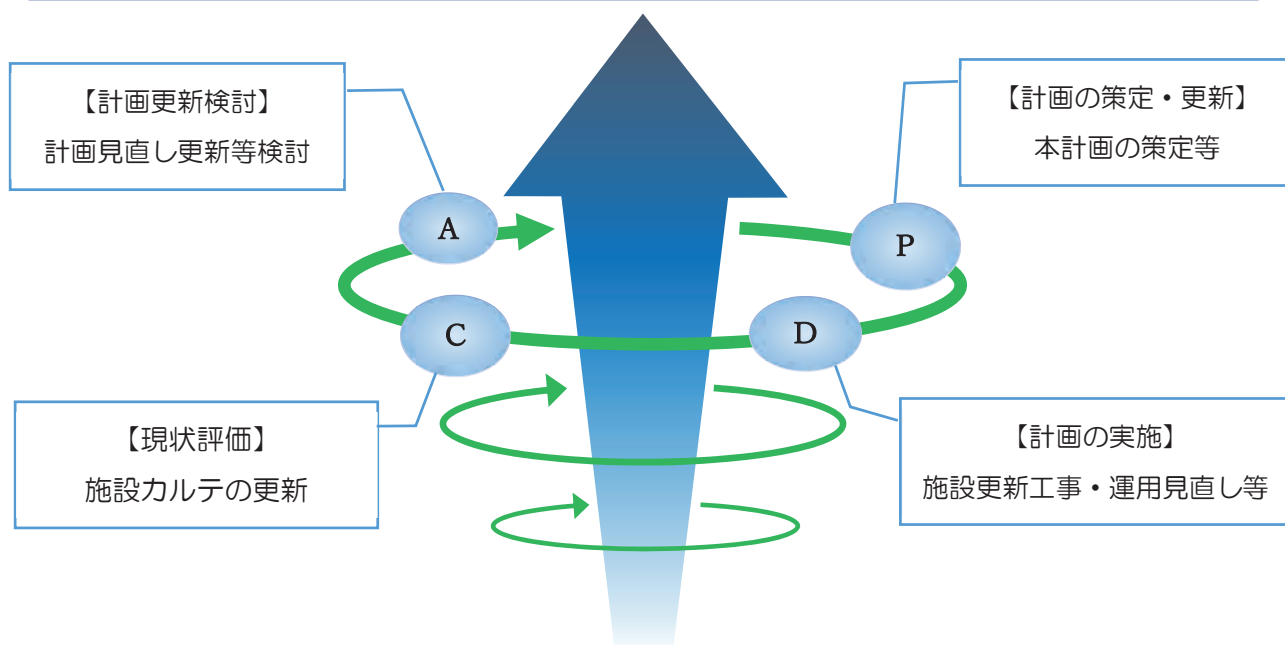


② PDCAサイクル

本計画については、毎年度、取り組み状況を評価し、必要な改善を行うことで、その後の計画立案に反映していきます。このような Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、継続的な改善を行っていきます。



健幸まちづくりを実践する みんなが利用しやすい スポーツ施設の整備



③ 市民・利用者とのコミュニケーション

施設の更新にあたっては、意見交換会やアンケートなどを行い、地域にお住まいの方や施設をご利用いただいている方など市民の皆さまの声を伺う場を作ります。その場において、本計画に定めている運用の見直しを含めた各施設の今後の方針をお伝えさせていただくとともに、市民の声に耳を傾け、コミュニケーションをとりながら進めます。

④ 現状評価・計画更新検討における視点

本計画は、策定時点における屋外スポーツ施設の利用状況や競技人口の推移などを元に検討したものです。今後、計画を実施したことなどによる利用状況の変化や、人口減少、少子高齢化といった人口構造の変化など、様々な要因からスポーツ施設に対して求められるものが変わっていくことが予想されます。そのため、引き続き施設利用状況や社会環境の変化を捉えながら現状評価と計画の更新を行っていきます。

● 野球場の需給バランス

本計画期間中においては諏訪北公園野球場、諏訪南公園野球場兼球技場及び一本杉公園野球場などの野球場の更新工事が多く予定されています。これらの改修の完了後においては、ほかの市内野球場を含め、施設稼働率や市内からの利用率に大きな変化が起きることも想定されることから、各野球場における方向性については、用途転用も含めて、あらためて検討を行っていきます。

● 陸上競技機能

陸上競技場については、インフィールドではサッカー、ラグビーなどのスポーツ競技で利用され、トラック部分では陸上競技が行われています。陸上競技の機能としては過去に2種公認を取得していましたが、現在は非公認であることから、大会開催が難しく、陸上競技のための利用は限定的になっています。そのため、陸上競技機能を今後どこまで維持していくかについては、陸上競技の需要や利用実態を確認しながら検討を行っていきます。

● 庭球場ナイター照明

庭球場のナイター照明については、一本杉公園庭球場4面及び連光寺公園庭球場2面に設置されています。多摩市内には多摩東公園庭球場に7面が設置され駐車台数も多いなど利便性にも優れていることから、多摩東公園庭球場へのナイター集約化についても検討を行いました。この結果、コスト的には現施設での更新費用と多摩東公園庭球場への移設費用はほぼ同額であったことから、より財源を確保しやすい方法により対応することが必要です。そのため、今後、各種補助金などの財源について確認しながらより適切な手法を検討します。

● 新たなスポーツ需要への対応

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴いスケートボードなどの各種競技種目に対する関心が高まっています。このような新たなスポーツ需要への対応については、多様な視点で研究を行っていきます。

7. 用語集

用語	内容
健全度調査	施設に附帯する設備（日除け、フェンス、バックネット、壁打ちなど）について、現地において構造材及び消耗材などの劣化や損傷の状況を目視などにより確認する調査のことをいう。
WBGT（Wet Bulb Globe Temperature）	熱中症を予防することを目的として、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、 ②日射・輻射など周辺の熱環境、 ③気温の3要素から算出される暑さの指標を指す。
ライフサイクルコスト	施設に附帯する設備などが設置されてからその役割を終えるまでに係る費用の総計を指す。
更新	施設全般もしくは施設に附帯する設備の取り替えや新しく作り直すことを指す。
改修	施設全般もしくは施設に附帯する設備の劣化や損傷の改善を図ることを指す。
補修	施設全般もしくは施設に附帯する設備の修理や交換（主要部材など）を指す。予防保全型管理において、施設の寿命を延ばすことを目的に行うものを含む。
使用見込み期間	施設全般もしくは施設に附帯する設備について、実際に使用が可能と想定される使用期間の目安として設定する期間のことを指す。

※「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」、「熱中症予防サイト」（環境省）を参考に一部修正し記載しています。



コラム 屋外スポーツ施設のメンテナンス



■ 一本杉公園野球場のグラウンド

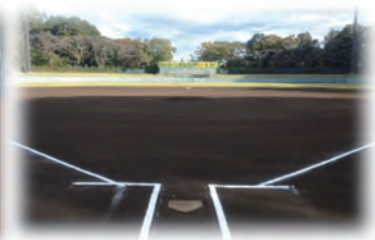
スパイクを履いた選手たちが駆け回ったあとは、グラウンドの表面に不陸が発生します。そのままですると球が思わぬ方向へ不規則な跳ね方をするイレギュラーバウンドを招きます。硬球が直撃すると打撲や骨折などのケガにつながりとても危険です。そのため、日常的なメンテナンスは欠かせません。

■ メンテナンス作業

利用前はファールライン、バッターボックスなどのライン引きを行います。利用後は傷みやすいマウンドやバッターボックスに土入れ及び転圧整備を施します。そして整備車両を使用して内野全体の表層を整えます。



表層整備中の様子



整備後の様子

■ 多摩市立陸上競技場の天然芝

陸上競技場のインフィールドは天然芝が整備されており、年間を通じて良好な状態を維持するため、様々なメンテナンスを行っています。



■ 天然芝の種類と年間サイクル

1年を通して快適に緑の天然芝のグラウンドをご利用いただけるように、暖地型で暑さに強いティフトンシバと、寒地型で寒さに強いペレニアルライグラスという2種類の芝を生育しています。芝が生え代わる時期には一定期間施設利用を止めて芝の育成を行う期間を設けます。

■ メンテナンス作業

利用前は競技に合わせた芝の刈高の調整やライン引きなどを行い、利用後には傷みやすいセンター付近やサッカーゴール付近を中心に補修を行います。生き物（天然芝）相手の作業なので日々の観察が欠かせません。



メンテナンス作業の様子

